

令和 8 年 度

昼間コース

演 習 指 針

長 崎 大 学 経 済 学 部

演 習 に つ い て

この演習指針は、令和8年4月から開講される演習の題目及びその内容・方針等を記載したものです。

演習は、長期にわたって履修しなければならないので、十分検討した上で一つの題目を選択し、履修手続きを行ってください。

演習の履修要件、履修方法、履修手続き等は、以下のとおりです。なお、長崎大学経済学部規程（以下「学部規程」という）は、入学時の規程が適用されますので、十分留意してください。

授業科目名	専門ゼミ		
学期・単位数 ・必修選択	通年・4単位・必修	標準履修年次	3年次
授業の目的 ・到達目標	「実践的エコノミスト」の養成を目指し、講義科目の内容の系統的理解を前提とした、特定の学問領域に関する知識の深化を図る。4年次に作成する卒業論文のテーマ選択へ向けて、専門領域における問題発見とその解決のプロセスを通じ、思考能力を涵養する。		
授業方法	各ゼミは9名から20名の少人数で構成される。1年間を通して一人の教員の指導のもとに履修する必修科目である。専門ゼミの単位修得後、原則として同一教員の指導のもとに卒研ゼミを履修する。所属ゼミ決定のために、教員と履修希望者との面接等を実施し履修希望者が多い場合は選抜が行われることがある。（面接等については、本指針の各教員による説明を参照。）		
指導内容等	「実践的エコノミスト」の養成に照らして各教員が設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生の主体的な学習を中心とした多彩なゼミ運営が行われる。各ゼミの課題・テーマ、内容と方法、教科書・教材・参考書等については、本指針の各教員による説明を参照。詳細は指導教員が指示する。		
成績評価の方法・基準等	ゼミの課題・テーマにたいする取り組み方、主体的・積極的なゼミへの参加、報告やプレゼンテーションなどを基本として、各指導教員が成績評価を行う。		
履修要件	専門ゼミを履修するためには、次に掲げる単位数を修得していなければならない。 令和3年度～令和6年度入学者 (1)教養教育科目の修得単位数が22単位以上（外国語科目6単位以上を含む） (2)専門教育科目の修得単位数が26単位以上 平成24年度～令和2年度入学者 (1)教養教育科目の修得単位数が28単位以上（外国語科目8単位以上を含む） (2)専門教育科目の修得単位数が20単位以上		
備考	ゼミによっては受入れコースや上記以外の履修条件を指定している場合があるので、注意が必要である。		

授業科目名	卒研ゼミ		
学期・単位数 ・必修選択	通年・4単位・必修	標準履修年次	4年次
授業の目的・ 到達目標	卒業研究ゼミであり、大学において習得した知識の体系化と応用、また専門ゼミにおいて培ったテーマ選択（問題解決）能力、調査研究能力等の一層の発展を目指し、各専門領域の研究を進める。大学教育の集大成として位置づけられ、その成果を卒業論文として完成させる。		
授業方法	各ゼミは9名から20名の少人数で構成される。原則として専門ゼミと同一教員の指導のもとに履修する必修科目である。卒業論文は原則として個人研究により、個々の学生に合わせた個別指導が行われる。		
指導内容等	論文作成プロセスを通じて、幅広い教養と基礎的知識の定着を図りつつ専門的知識を一層掘り下げ、問題解決方法を生み出す思考能力を育成する。各学生の選択テーマや問題意識に則して、文献・資料の探索やデータ整理・分析、論文の形式、構成や論旨展開など、さまざまな観点から指導教員が助言を与える。		
成績評価の 方法・基準等	第4年次の指定された期日までに卒業論文を提出しなければならない。成績評価は提出された卒業論文等により各指導教員が行う。		
履修要件	卒研ゼミを履修するためには、専門ゼミの単位を修得していなければならない。		
備考			

○募集及び履修手続き

(1) 募集人数・採用数

各ゼミの募集人数は9～20名とする。

(2) 募集日程

募集は下記の日程により行う。

区分		期日	申込手続等
第1次募集	提出締切	11月17日（月）17時00分	対象となる全ての学生は、第1次募集申込書を学務係へ提出する。
	面接等	11月19日（水）～12月4日（木）	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	12月8日（月）15時00分	ピロティー掲示板で発表するとともに、第2次募集を行う教員名を掲示で知らせる。
第2次募集	提出締切	12月11日（木）17時00分	第1次募集で決定しなかった学生は、第2次募集申込書を学務係へ提出する。
	面接等	12月15日（月）～12月17日（水）	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	12月19日（金）15時00分	ピロティー掲示板で発表するとともに、第3次募集を行う教員名を掲示で知らせる。
第3次募集	提出締切	1月7日（水）17時00分	第2次募集で決定しなかった学生は、第3次募集申込書を学務係へ提出する。
	面接等	1月13日（火）～1月15日（木）	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	1月21日（水）15時00分	ピロティー掲示板で発表する。
第3次募集結果発表後の 手続き		第3次募集までに決定しなかったものについては、ピロティー掲示板で各ゼミの採用決定状況を確認のうえ、引き続き決定するまで手続きを行う。	

※ 面接等実施日程、見学実施日程、個別相談日程は次ページ以降に掲載

※ シラバスを、LACS 及び経済学部ホームページ掲載の「演習指針」から必ず確認すること。
経済学部ホームページ → 在学生の皆様へ → 受講の手引き → ゼミナールガイド →
令和 8 年度昼間コース演習指針

最終的な履修決定者（履修要件を満たした者）は、令和 8 年 4 月初めに掲示にて発表する。

○指導教員の変更について

- (1) 履修登録取消や辞退の場合は、あらためて履修手続きを行い、新たに専門ゼミ及び卒研ゼミを、原則として同一指導教員のもとに履修しなければならない。
- (2) やむを得ない事情により、同一指導教員のもとに履修することができない場合は、指導教員の変更を認めることがある。（指導教員の転出、休職、長期出張等）

○演習室使用上の注意等

- (1) 演習は、4 月初めに割り当てられた演習室で行われる。
- (2) 演習室を使用する場合は、事前に学務係の使用簿に記入し、鍵を預かり、使用後は施錠し学務係へ返却する。
- (3) 演習室の使用時間は、原則として 14 時 30 分～17 時 40 分までとし、時間外に使用するときには指導教員を経て学務係に申し出ること。
- (4) 演習終了後は、戸締まり等を確実に行うこと。
- (5) 演習に関わる報告書等を作成するための印刷機を本館 2 階・多目的室に設置する。使用方法については、学務係窓口または掲示等で確認すること。

○その他申込みについての注意事項

- (1) 専門ゼミ募集に関する連絡事項（面接日・ゼミ見学・相談日時の変更等）・ゼミ決定通知通知は LACS 掲載及び本館 1 2 講義室前ピロティの掲示板に掲示するので、随時確認すること。
- (2) 申込書の配付
10 月中旬頃から学務係前情報コーナーに設置するので、各自第何次募集かを記載して使用すること。
また、LACS 掲載及び経済学部ホームページにも掲載するので、各自印刷して提出することもできる。
- (3) 教員宛に事提出物がある場合も、専門ゼミ申込書は必ず学務係前のレポートボックスに提出すること。
- (4) 申込書の「題目」欄は、後の「演習題目及び担当教員一覧」に記載されている「演習題目」を記入すること。
- (5) 教員宛にメールを送信する場合は、『学生番号・氏名および「ゼミ募集について」』等件名を入れること。携帯電話でメールを受信する場合は、PC からのメールを受信できるようにしておくこと。教員からの連絡が滞る場合には、電話や学務係を通じて必ず確認すること。
- (6) 本演習の面接を理由とした講義の「欠席届」の提出はできない。万が一、講義の時間と重複する場合は教員に時間等調整の相談をすること。
- (7) 提出物や面接の日時については、LACS、演習指針及び本館 1 2 講義室前ピロティの掲示板を確認し、その指示に従うこと。指示に従わない場合は受け入れないことがある。
- (8) ゼミ決定後は、原則辞退することはできないので注意すること。（選考時に未決定となった他の学生が不利益を被ることを防ぐため。）
- (9) 早期卒業予定者は、「演習題目及び担当教員一覧」の「早期卒業予定者受入れ」欄に○があるものから選択すること。

専門ゼミ 面接等実施日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	区分	面接実施日	時間帯	場所	注意事項
VIEIRA AMARO, Bebio	Research on Urban Environments & Spaces	第1次募集	11月25日(火)	10:00 ～ 11:00	本館5階503号室	Before the interview date, send an email to the teacher, with the subject title "Application Request for Special Seminar (Student Name + Number)." Also attach to the email a Word file (A4 size, 1 page maximum) with the following information in English: (a) Student Name & Number; (b) a quick self-introduction; (c) why you are interested in taking this seminar; (d) what is the general research topic that you are interested in investigating; (e) interview date. The interview will be conducted in English.
		第2次募集	12月16日(火)	10:00 ～ 11:00	本館5階503号室	
		第3次募集	1月14日(水)	10:00 ～ 11:00	本館5階503号室	
井田 洋子	憲法問題の探究	第1次募集	12月1日(月)	12:00 ～ 13:00	学部長室	面接時に憲法に関連する問題について書かれた紙媒体の資料を持参すること。
		第2次募集	12月15日(月)	12:00 ～ 13:00	学部長室	
		第3次募集	1月14日(水)	12:00 ～ 13:00	学部長室	
今仁 裕輔	企業ファイナンス	第1次募集	11月25日(火)	11:00 ～ 17:00	本館6階603号室	面接の時間の設定のために,前日までにメールでアポイントメントをとってください。その際に、以下についてWord1枚でまとめたものをメールで送付してください。 (1) 専門ゼミでこういったことを学びたいと思い、志望したか (2) これまでに履修した金融/計量経済/統計関連の講義名と、それぞれの講義で印象に残ったトピック 送付先：y_imani@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	12月16日(火)	11:00 ～ 17:00	本館6階603号室	
		第3次募集	1月13日(火)	11:00 ～ 17:00	本館6階603号室	
宇都宮 譲	人的資源管理	第1次募集	12月2日（火）	14：30 ～ 16：00	東南アジア研究所209室	貴君が本研究室を志望する理由をA4用紙1枚以内にまとめて、yuzuru@nagasaki-u.ac.jpまで送ってください。期限は各面接実施日前日とします。面接試験時間は、別途個別に連絡します。本研究室に関する詳細は、以下QRコードからアクセスできるページを御覧ください。 
		第2次募集	12月16日（火）	14：30 ～ 16：00	東南アジア研究所209室	
		第3次募集	1月13日（火）	14：30 ～ 16：00	東南アジア研究所209室	
岡崎 洋太郎	政策マインドの 涵養（国際貿易・経済を素材として）	第1次募集	11月25日(火)	13:00 ～ 15:00	本館6階624岡崎研究室	面接時に、A4用紙 1枚にまとめた自己紹介文（800 字程度。記載内容は自由とするが、志望理由を含むことが望ましい。）を持ってくること。事前提出は不要。
		第2次募集	12月16日(火)	13:00 ～ 14:00	本館6階624岡崎研究室	
		第3次募集	1月13日(火)	13:00 ～ 14:00	本館6階624岡崎研究室	
神園 健次	サステナブル金融	第1次募集				受講希望者は、①志望理由、②シラバスの「学生へのメッセージ」に記載してある課題、の2点をレポートにまとめ、募集期間中に、担当教員へメールにて提出すること。選考はレポートの内容によって行い、面接は実施しません。
		第2次募集				
		第3次募集				
工藤 健	経済政策および マクロ経済	第1次募集	11月19日～12月4日	8:50 ～ 17:40	本館5階521工藤研究室 またはオンライン	募集申込書に加えて、募集申込書の提出締切までに、下記のQRコードから「応募シート」フォームにアクセスし、必要事項を記入して回答を送信すること。面接時間の割当等に使用します。 
		第2次募集	12月15日～12月17日	8:50 ～ 17:40	本館5階521工藤研究室 またはオンライン	
		第3次募集	1月13日～1月15日	8:50 ～ 17:40	本館5階521工藤研究室 またはオンライン	
桑波田 浩之	国際経済学研究	第1次募集	11月21日(金)	12:00 ～ 17:00	本館6階604研究室	A4用紙 1枚以内に①自己紹介②志望理由③大学で勉学以外で力を入れていること、の3点をまとめて、面接の前日までにEメールの添付ファイルで桑波田(kuwahata@nagasaki-u.ac.jp)まで送ること。
		第2次募集	12月16日(火)	12:00 ～ 14:00	本館6階604研究室	
		第3次募集	1月13日(火)	12:00 ～ 14:00	本館6階604研究室	
式見 拓仙	統計学	第1次募集	11月21日（金）	12:10 ～ 12:45	東南アジア研究所2階214	1. シラバスで指定しているテキストを必ず手に取って自分の学びたいことと合致しているかどうかを確認してください。 2. 本ゼミに応募する学生は面接日時に東南アジア研究所2階214までお越しください。 3. 面接日の前日17:00までに自己紹介と志望動機をA4一枚程度（横書）にまとめたものを以下の宛先に送ってください（締切厳守）。shikimi@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	12月17日（水）	12:10 ～ 12:45	東南アジア研究所2階214	
		第3次募集	1月15日（木）	12:10 ～ 12:45	東南アジア研究所2階214	

教員名	演習題目	区分	面接実施日	時間帯	場所	注意事項
式見 雅代	金融論	第1次募集	11月28日（金）	13:00 ～ 14:00	経済分館1F	面接時に、A4用紙 1枚にまとめた自己紹介文（800 字程度、志望理由を含む）を持ってくること。 予約制とします。わかりやすいメールアドレスを記入して申し込んでください。
		第2次募集	12月16日（火）	16:00 ～ 16:30	経済分館1F	
		第3次募集	1月13日（火）	16:00 ～ 16:30	経済分館1F	
朱 宝玲	ビジネス法務	第1次募集	11月19日(水)	13:00 ～ 14:00	新館204	面接時、A4用紙一枚にまとめた自己紹介（1000字以内）を持参してください。
		第2次募集	12月17日(水)	13:00 ～ 14:00	新館204	
		第3次募集	1月14日(水)	13:00 ～ 14:00	新館204	
徐 陽	制度会計	第1次募集	11月19日(水)	13:00 ～ 14:00	本館5階508研究室	面接時に、A4用紙 1枚にまとめた自己紹介文（800 字程度、志望理由を含む）を持ってくること。 ※面接を実施しない場合は選考方法を記入ください
		第2次募集	12月15日(月)	13:00 ～ 14:00	本館5階508研究室	
		第3次募集	1月13日(火)	13:00 ～ 14:00	本館5階508研究室	
白水 桂子	社会言語学	第1次募集	11月28日(金)		オンラインによる面接	応募を考えている場合は、個別相談、またはメールでの相談を必ず事前にして下さい。実際に応募する際には、面接日の前日までに、A4用紙 1枚の志望理由書のファイルをメール添付で送付して下さい。申込書には確実に連絡が取れるメールアドレスを記入して下さい。
		第2次募集	12月17日（水）		オンラインによる面接	
		第3次募集	1月15日（木）		オンラインによる面接	
鈴木 齊	コンピュータセキュリティ	第1次募集	11月19日～11月28日迄	相談に応じます。	本館6F631 鈴木研究室	事前にメールでアボを取ること なお、面接時にA4用紙1頁にまとめた自己紹介を持参して下さい。面接日時の希望については sigh@nagasaki-u.ac.jp に連絡願います。
		第2次募集	12月15日～12月17日迄	相談に応じます。	本館6F631 鈴木研究室	
		第3次募集	1月13日～1月15日迄	相談に応じます。	本館6F631 鈴木研究室	
高井 計吾	マネジメントの実践	第1次募集	11月21日（金）	13:00 ～ 16:00	本館5階525高井研究室	・面接時刻や形式などの詳細については、こちらから応募者にメールします。 ・学務への申込書提出に加え、面接2日前までに、800字程度の自己紹介文（志望理由を含む）をワード等で作成・添付し、kegotak@nagasaki-u.ac.jp まで送付してください。
		第2次募集	12月17日（水）	13:00 ～ 16:00	本館5階525高井研究室	
		第3次募集	1月13日（火）	13:00 ～ 16:00	本館5階525高井研究室	
田村 由美子	国際開発支援	第1次募集	12月2日(火)	11:00 ～ 16:00	本館6階606田村研究室	面接時に、(1)自己紹介と(2)社会全体や身の回りで気になっている事についてA4用紙1枚程度にまとめて持参してください。
		第2次募集	12月16日(火)	11:00 ～ 14:00	本館6階606田村研究室	
		第3次募集	1月13日(火)	11:00 ～ 14:00	本館6階606田村研究室	
趙 文静	民法問題の研究	第1次募集	11月19日(水)	13:00 ～ 14:00	本館5階504研究室	面接の 前日 までに、民法の中でご自身が関心を持っているテーマに関する文章（このテーマに関心を持つ理由、このテーマの背景に関する調査、また、このテーマに対して自身の見解など、500 字程度）をメールにてお送りください（zhaowenjing@nagasaki-u.ac.jp）。
		第2次募集	12月18日(木)	13:00 ～ 14:00	本館5階504研究室	
		第3次募集	1月14日(水)	13:00 ～ 14:00	本館5階504研究室	
CHEN MINGYAN	動学マクロ経済学	第1次募集	11月20日(木)	16:10 ～ 17:10	後日指定	これまでの学び・将来の展望・卒業研究につなげたいテーマをA4一枚に収める程度にまとめ、PDFファイルにして面接日前日までにメールで提出してください。 提出先： chen.mingyan.56s@gmail.com
		第2次募集	12月15日(月)	12:00 ～ 13:00	後日指定	
		第3次募集	1月13日(火)	12:00 ～ 13:00	後日指定	
釣谷 亮介	産業組織論（理論）	第1次募集	12月2日（火）～12月4日（木）	12:40 ～ 13:10	東南アジア研究所2階211	・事前にメールで希望日を連絡してください。 ・面接では志望理由などをお尋ねします。残念ながら、学部知識では到底扱えない企業行動もありますが、興味のある企業行動や競争政策などを教えてもらえると、色々と話を広げることができるかもしれません。肩肘張らず、お気軽にご参加ください。
		第2次募集	12月16日（火）～12月17日（水）	12:40 ～ 13:10	東南アジア研究所2階211	
		第3次募集	1月13日（火）～1月14日（水）	12:40 ～ 13:10	東南アジア研究所2階211	
津留崎 和義	マネジメントの実践	第1次募集	11月20日（木）	10:00 ～ 19:00	本館6階601研究室	面接時間の割り振りを行うので、面接日前日の11月19日（水）12:30に本館6階601研究室に集合すること
		第2次募集	追って掲示する			
		第3次募集	追って掲示する			
杜 依濛	環境経済学	第1次募集	11月28日(金)	10:00 ～ 13:00	本館5階 523研究室・	・ゼミ希望者は、面接前にメールを送ること（メールの件名は「ゼミ面接希望、学生番号、氏名」と記載） ・折り返し、面接で使用するアンケートのQRコードを送るので、面接前日までにアンケートを記入すること 送付先：du-yimeng@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	12月17日(水)	10:00 ～ 12:00	本館5階 523研究室・	
		第3次募集	1月14日(水)	10:00 ～ 12:00	本館5階 523研究室・	

教員名	演習題目	区分	面接実施日	時間帯	場所	注意事項
成田 真樹子	世界経済論	第1次募集	11月25日, 26日, 12月2日, 3日		本館5階511研究室	メールで面接日時の調整を行います。希望者は締め切りまでに学生番号、氏名、希望日時（だいたいで可）、研究室での面接かオンライン面接のどちらを希望するかを記載してメールしてください。2日以内に返信します（土日祝を除く）。締め切りまでにメールを送っていない場合は辞退したものとみなします。なお、面接実施日以外でも時間が合えば面接を設定することも可能です。
		第2次募集	12月15日～16日		本館5階511研究室	
		第3次募集	1月13日～14日		本館5階511研究室	
林 徹	企業経営の基礎	第1次募集	11月21日(金)	16:10 ～ 17:50	本館6階627研究室	個別相談を経していない者のみ対象。
		第2次募集	12月17日(水)	16:10 ～ 17:50	本館6階627研究室	
		第3次募集	1月14日(火)	16:10 ～ 17:50	本館6階627研究室	
林川 美由樹	財務報告と監査	第1次募集	11月19日(水)	13:00 ～ 14:00	オンライン	第1 から第3までの各応募締め切り日時までに以下3つについてのファイルをwordで作成し、メール添付で教員に送信すること。 (1)志望動機と将来進路(特に会計の専門をどう活かすかについて) 1000字以上、上限なし。 (2)財務会計および監査に関する学術論文を3本読み、そこから卒論のテーマとして興味のあるものを引き出し説明する。1000字以上、上限なし。 (3)CPAもしくは他の国家試験受験を予定している学生は、現役合格のための具体的スケジュールをどのように設計しているかを説明。わかりやすく説明すること。字数を問わない。 提出されたメールに返信をしてオンライン面談日時を決めます。期限までにメールが来ない場合は、その先の選考行程に進めませんのでご注意ください。
		第2次募集	12月15日（月）	13:00 ～ 14:00	オンライン	
		第3次募集	1月13日（火）	13:00 ～ 14:00	オンライン	
原 由紀恵	Linguistics	第1次募集	12月3日(水)	12:30 ～ 14:00	Zoom/本館5階509	By the application deadline, email Yukie HARA at harayukie@nagasaki-u.ac.jp to submit your writing (1 page, A4) by attachment, which describes in English (1) why you choose this seminar, and (2) what you like to achieve by joining this seminar (your research theme). Inform any unavailable times for the interview in the email. The interview is to be done in English.
		第2次募集	12月17日(水)	13:00 ～ 14:00	Zoom/本館5階509	
		第3次募集	1月14日(水)	13:00 ～ 14:00	Zoom/本館5階509	
辺見 英貴	マネジメントの実践	第1次募集	11月19日（水）	14:30 ～ 17:30	本館6階608研究室	面接時に、A4用紙にまとめた自己紹介文（字数不問、志望理由を含む）を持ってくること。なお、応募者多数の場合は、自己紹介文のみで選考する。詳細はメールで連絡する。
		第2次募集	12月17日（水）	14:30 ～ 16:30	本館6階608研究室	
		第3次募集	1月14日（水）	13:00 ～ 14:00	本館6階608研究室	
間島 羽奈子	マネジメントの実践	第1次募集	11月20日(木)	13:00 ～ 14:00	本館6階626研究室	面接時に、A4用紙 1枚にまとめた自己紹介文（800 字程度、志望理由を含む）を持ってくること。
		第2次募集	12月15日(月)	13:00 ～ 14:00	本館6階626研究室	
		第3次募集	1月15日(木)	13:00 ～ 14:00	本館6階626研究室	
南森 茂太	日本経済史	第1次募集	随時.申し込みの際に複数の面接可能日時候補をメール（shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp）にてご連絡ください。		本館6階625研究室	・面接にあたり、志望理由書を A4用紙に800字程度でまとめて持参してください。
		第2次募集				
		第3次募集				
三輪 加奈	開発経済研究	第1次募集	11月25～12月4日	12:00 ～ 13:00	本館6階623研究室	事前にメールで希望日を連絡すること。都合がつかない場合はその他の日時でも調整可能。 面接時に、自己紹介や志望動機をまとめたもの（A4用紙 1枚）を持ってくること。
		第2次募集	12月15～17日	12:00 ～ 13:00	本館6階623研究室	
		第3次募集	1月13～15日	12:00 ～ 13:00	本館6階623研究室	
森田 顕仁	租税法研究	第1次募集	注意事項参照	～	本館6階602号室	面接を希望する学生は、事前に森田宛にメールをしてください。 メールには、A4用紙 1枚（800字程度）にまとめた自己紹介文（志望理由を含む）を添付するとともに、下記日程の中の面接希望日時の記載もお願いします。 第一次募集の面接は、11月19日（水）9:00～18:00、12月1日（月）9:00～18:00、12月3日（水）9:00～18:00のいずれかに行います。
		第2次募集	12月17日(水)	9:00 ～ 18:00	本館6階602号室	
		第3次募集	1月14日(水)	9:00 ～ 18:00	本館6階602号室	

教員名	演習題目	区分	面接実施日	時間帯	場所	注意事項
山口 純哉	地域経済学	第1次募集	11月19日(水)	18:00 ~ 20:00	本館3階オープンラボ2	学務係に申込書を提出した日に、このゼミを志望する動機800字程度のワードファイルをメールに添付して担当教員まで送信すること。 山口 junya-y@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	12月15日(月)	18:00 ~ 20:00	本館3階オープンラボ2	
		第3次募集	1月15日(木)	18:00 ~ 20:00	本館3階オープンラボ2	

専門ゼミ ゼミ見学実施日程

期間：10月9日（木）～11月13日（木）

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	曜日	校時	場所	実施日					
					10月				11月	
井田 洋子	憲法問題の探究	火	5	本館42演習室	28				4	
宇都宮 譲	人的資源管理	火	4	東南アジア研究所209室						
神薊 健次	サステナブル金融	金	4	本館41演習室	10	17	24	31	7	
工藤 健	経済政策および マクロ経済	木	5	本館46演習室	23				6	
桑波田 浩之	国際経済学研究	火	4	本館24演習室	7	14	21	28	11	
朱 宝玲	ビジネス法務	月	5	新館204演習室	6	20	27		10	17
徐 陽	制度会計	金	4	図書館	10	17	24	31		
鈴木 斉	コンピュータ セキュリティ	金	4	本館46演習室	10	17	24	31	7	
高井 計吾	マネジメントの実践	月	4	本館4Fメディアステーション	20	27			10	
趙 文静	民法問題の研究	木	5	新館401演習室	9	16	23	30	6	13
津留崎 和義	マネジメントの実践	金	3・4・5	メディアステーション1・2	10	24			7	
杜 依濤	環境経済学	木	5	本館25演習室	9	16	23			
成田 真樹子	世界経済論	金	4	本館24演習室	10	31			7	
林川 美由樹	財務報告と監査	木	4	本館44演習室	16	30			13	
原 由紀恵	Linguistics	金	4	本館32演習室 （※10/17のみ本館31）	17				7	
辺見 英貴	マネジメントの実践	木	4	メディアステーションI	9	23				
南森 茂太	日本経済史	月	4	附属図書館経済学部分館 ラーニングcommons	20	27				
三輪 加奈	開発経済研究	火	4	本館23演習室	28				11	
森田 顕仁	租税法研究	金	5	本館33演習室	10	17	24	31	7	14

専門ゼミ 個別相談日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	実施日	時間帯	場所	備考
VIEIRA AMARO, Bebio	Research on Urban Environments & Spaces	10月1日(水)	10:10 ~ 11:00	本館5階503号室	Students must make an appointment by email (事前にメールでアポを取ること): bvamaro▲nagasaki-u.ac.jp (Please change ▲ to @ when sending your e-mails.)
		10月8日(水)	10:10 ~ 11:00	本館5階503号室	
		10月22日(水)	10:10 ~ 11:00	本館5階503号室	
今仁 裕輔	企業ファイナンス	10月14日(火)	13:00 ~ 17:00	本館6階603号室	事前にメールでアポを取ること
		10月21日(火)	13:00 ~ 17:00	本館6階603号室	
		10月29日(水)	13:00 ~ 17:00	本館6階603号室	
宇都宮 譲	人的資源管理	10月9日(火)	14:30 ~ 16:00	東南アジア研究所209室	研究室を訪ねる日時・人数をあらかじめ電子メールにてお知らせください。
		10月16日(火)	14:30 ~ 16:00	東南アジア研究所209室	
		10月23日(火)	14:30 ~ 16:00	東南アジア研究所209室	
岡崎 洋太郎	政策マインドの涵養(国際貿易・経済を素材として)	11月25日(火)	15:00 ~ 16:00	本館6階624岡崎研究室	事前にメールでアポを取ること(他の日時を希望する場合、事前にその旨連絡をもらえれば、日程調整は柔軟に対応する)
		12月16日(火)	14:00 ~ 15:00	本館6階624岡崎研究室	
		1月13日(火)	14:00 ~ 15:00	本館6階624岡崎研究室	
神薊 健次	サステナブル金融		~		対面またはオンラインでの相談を受け付けます。希望者はメールで日時をご相談ください。
			~		
			~		
工藤 健	経済政策およびマクロ経済	10月22日(水)	12:00 ~ 12:50	本館5階521工藤研究室	事前のアポは不要。オンライン相談は右のQRコードから入室し、呼び出されるまで待機してください。 
		10月27日(月)、11月4日(火)	16:10 ~ 18:20	オンライン(WebEx)	
		11月6日(木)	17:40 ~ 18:20	本館4階46演習室	
式見 拓仙	統計学	10月17日(金)	12:10 ~ 15:00	東南アジア研究所2階214	事前にメールで日程を調整すること。
		10月24日(金)	12:10 ~ 15:00	東南アジア研究所2階214	
式見 雅代	金融論	10月15日(水)	12:10 ~ 12:40		事前にメールでアポを取る。その際、場所について連絡します。
		10月21日(火)	12:10 ~ 12:40		
		10月22日(水)	12:10 ~ 12:40		
朱 宝玲	ビジネス法務	11月10日(月)	15:00 ~ 16:00	新館204	
		11月17日(月)	15:00 ~ 16:00	新館204	
徐 陽	制度会計	10月9日(木)	16:10 ~ 18:00	本館5階508研究室	事前にメールでアポを取る
白水 桂子	社会言語学	11月7日(金)	~	オンラインによる面談	応募を検討している場合は、必ず個別相談(オンライン、またはメールで)をしてください。オンラインでの面談日時は相談の上、決定します。確実に連絡が取れるメールアドレスで「ゼミの個別面談希望」の件名でメールを送って下さい。
		11月13日(木)	~	オンラインによる面談	

教員名	演習題目	実施日	時間帯	場所	備考
鈴木 齊	コンピュータセキュリティ	応相談		本館6階631鈴木研究室 もしくはオンライン	事前にメールでアポを取ること
高井 計吾	マネジメントの実践	随時			事前にメールでアポイントメントを取ってください。 オンライン希望の方はメールでその旨連絡ください。
田村 由美子	国際開発支援	10月27日(月)	11:00 ～ 16:00	本館6階606田村研究室	事前にメールでアポを取ってください
		11月5日(水)	11:00 ～ 14:00	本館6階606田村研究室	
		11月18日(火)	11:00 ～ 16:00	本館6階606田村研究室	
趙 文静	民法問題の研究	10月9日(木)	12:10 ～ 13:00	本館5階504研究室	事前にメールにて連絡を取ってください (zhaowenjing@nagasaki-u.ac.jp)
		10月22日(水)	13:10 ～ 14:00	本館5階504研究室	
		11月5日(水)	12:10 ～ 13:00	本館5階504研究室	
CHEN MINGYAN	動学マクロ経済学	10月16日(木)	12:00 ～ 12:50	後日指定	事前にメールでご連絡ください。なお、他の日程にもなるべく対応しますので、希望する場合は希望日時を明記してください。
		10月27日(月)	12:00 ～ 12:50	後日指定	
		11月11日(火)	12:00 ～ 12:50	後日指定	
釣谷 亮介	産業組織論（理論）	10月10日(金)	12:10 ～ 13:00	東南アジア研究所2階211	事前にメールでアポを取ってください。どうしても都合が悪い場合はメールにてご相談ください。
		10月24日(金)	12:10 ～ 13:00	東南アジア研究所2階211	
		11月10日(月)	12:10 ～ 13:00	東南アジア研究所2階211	
津留崎 和義	マネジメントの実践	10月10日（金）	12:50 ～ 17:40	メディアステーション1・2	ゼミ見学时と同時並行して行うので、個別相談希望の場合はその場で申し出ること
		10月24日（金）	12:50 ～ 17:40	メディアステーション1・2	
		11月7日（金）	12:50 ～ 17:40	メディアステーション1・2	
杜 依濛	環境経済学	10月16日(木)	15:00 ～ 16:00	本館5階 523研究室・	事前にメールでアポを取ること （メールの件名は「個別相談希望、学生番号、氏名」と記載） 連絡先：du-yimeng@nagasaki-u.ac.jp
		10月23日(木)	15:00 ～ 16:00	本館5階 523研究室・	
		11月6日(木)	15:00 ～ 16:00	本館5階 523研究室・	
成田 真樹子	世界経済論	10月21日（火）	16:10 ～ 18:00	本館5階511研究室	希望者は事前にメールしてください。記載された以外の日程でも対応可能ですので、希望者はメールに希望日時を記載してください。
		10月27日（月）	16:10 ～ 18:00	本館5階511研究室	
林 徹	企業経営の基礎	10月15日(水)	8:50 ～ 12:00	本館6階627研究室	要予約。他の日時またはTeamsでも調整のうえ対応しますので連絡してください。個別相談を経た応募者には面接を実施しません。
		10月15日(水)	14:30 ～ 17:30		
		10月24日(金)	13:30 ～ 16:00		
		10月29日(水)	8:50 ～ 12:00		
		11月12日(水)	8:50 ～ 12:00		
林川 美由樹	財務報告と監査	10月9日（木）	13:00 ～ 14:00	オンライン（Teams）	事前にメールでアポを取ってください。Teamsで面談します。
		10月24日（木）	13:00 ～ 14:00	オンライン（Teams）	
		11月6日（木）	13:00 ～ 14:00	オンライン（Teams）	

教員名	演習題目	実施日	時間帯	場所	備考
原 由紀恵	Linguistics	10月22日(水)	12:30 ~ 14:00	Zoom/本館5階509	Make sure to make an appointment with Yukie HARA in advance at harayukie@nagasaki-u.ac.jp
		10月29日(水)	12:30 ~ 14:00	Zoom/本館5階509	
		11月12日(水)	12:30 ~ 14:00	Zoom/本館5階509	
辺見 英貴	マネジメントの実践	10月15日(水)	13:00 ~ 15:00	本館6階608研究室	シラバスや研究室HP (https://hidetakalab.tumblr.com)を確認したうえで、事前にメールでアポを取ること
		10月21日(火)	15:00 ~ 17:00	本館6階608研究室	
		11月5日(水)	13:00 ~ 15:00	本館6階608研究室	
間島 羽奈子	マネジメントの実践	10月10日(金)	12:10 ~ 13:00	本館6階626研究室	事前にメールでアポイントを取ること
		10月16日(木)	12:10 ~ 13:00	本館6階626研究室	
		10月27日(月)	12:10 ~ 13:00	本館6階626研究室	
南森 茂太	日本経済史	随時。申し込みの際に複数の希望日時候補をメール (shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp) にてご連絡ください。		本館6階625研究室	
三輪 加奈	開発経済研究	随時		本館6階623研究室	事前にメールでアポを取ること
森田 顕仁	租税法研究		～	本館6階602号室	私の予定が空いていればいつでも大丈夫ですので、事前にメールでアポを取ってください。
			～	本館6階602号室	
			～	本館6階602号室	
山口 純哉	地域経済学	11月11日(火)	18:00 ~ 19:30	本館3階オープンラボ2	事前にメールでアポを取ること 山口 junya-y@nagasaki-u.ac.jp
		12月1日(月)	18:00 ~ 19:30	本館3階オープンラボ2	

教員研究室及び演習室配置図

令和7年10月1日現在

○本 館
6階

複写室	男子トイレ	三輪	岡崎	南森	間島	林(徹)		階段	EV	木村	鈴木(斉)	
階段	津留崎	森田	今仁	桑波田	西村	田村	丸山(真)	辺見			神蘭	式見(雅)

5階

工藤	女子トイレ	杜		高井	オープンラボ	オープンラボ		階段	EV		林(麗)	小野
階段		林川	AMARO Bebio	趙	職員談話室	井田		徐	原	吉沢	成田	大角

4階

43 演習室	男子トイレ	44演習室	45演習室	46 演習室	情報化 推進室		階段	EV	MS1			
階段	41演習室		42演習室		院生(D)研究室			MS3		MS2		

3階

メンテナンス ルーム	女子トイレ	オープンラボ		34 演習室	リフレッシュルーム		階段	EV	オープンラボ	
階段	オープンラボ		オープンラボ	31 演習室		32 演習室		33演習室		オープンラボ

○東南アジア研究所

3階

共同研究室4					階段	女子トイレ	男子トイレ			
		朱				EV				岡田

2階

山口			共同研究室3		階段	女子トイレ	男子トイレ			
式見(拓)			釣谷			EV	宇都宮	白水		宍倉

1階

書 庫	電気室		階段	女子トイレ	男子トイレ	資料室 1	資料室 2
	資料整理室 (事務室)			EV	談話・リフレッシュ コーナー	ファカルティー セミナー室	

演習題目及び担当教員一覧(教員名50音順)

演習題目	早期卒業予定者受入れ	職名	教員名	アドレス	内線	研究室	頁
Research on Urban Environments & Spaces		助教	VIEIRA AMARO, Bebio	bvamaro@nagasaki-u.ac.jp		本5階	1
憲法問題の探究	○	教授	井田 洋子	smile@nagasaki-u.ac.jp		本5階	5
企業ファイナンス		助教	今仁 裕輔	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		本6階	7
人的資源管理		准教授	宇都宮 譲	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp	384	東ア2階	9
政策マインドの涵養(国際貿易・経済を素材として)		教授	岡崎 洋太郎	yotaro.okazaki@nagasaki-u.ac.jp		本6階	11
サステナブル金融	○	准教授	神蘭 健次	k-kamiz@nagasaki-u.ac.jp	377	本6階	13
経済政策およびマクロ経済	○	准教授	工藤 健	tkudo@nagasaki-u.ac.jp	369	本5階	15
国際経済学研究		准教授	桑波田 浩之	kuwahata@nagasaki-u.ac.jp	354	本6階	18
統計学	○	准教授	式見 拓仙	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	20
金融論	○	教授	式見 雅代	mshikimi@nagasaki-u.ac.jp		本6階	22
ビジネス法務		准教授	朱 宝玲	syu-hourei@nagasaki-u.ac.jp		東ア3階	24
制度会計	○	教授	徐 陽	jxuyang@nagasaki-u.ac.jp	373	本5階	26
社会言語学		講師	白水 桂子	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	28
コンピュータセキュリティ		講師	鈴木 斉	sigh@nagasaki-u.ac.jp	372	本6階	30
マネジメントの実践		助教	高井 計吾	kegotak@nagasaki-u.ac.jp		本5階	33
国際開発支援	○	教授	田村 由美子	ytamura@nagasaki-u.ac.jp	361	本6階	35
民法問題の研究	○	助教	趙 文静	zhaowenjing@nagasaki-u.ac.jp		本5階	37
動学マクロ経済学		助教	CHEN MINGYAN	chen.mingyan.56s@gmail.com			39
産業組織論(理論)		助教	釣谷 亮介	tsuritanir@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	42
マネジメントの実践		准教授	津留崎 和義	turusaki@nagasaki-u.ac.jp		本6階	46
環境経済学		助教	杜 依濛	du-yimeng@nagasaki-u.ac.jp		本5階	48
世界経済論	○	准教授	成田 真樹子	makki@nagasaki-u.ac.jp		本5階	50
企業経営の基礎	○	教授	林 徹	thaya@nagasaki-u.ac.jp	368	本6階	52
財務報告と監査		准教授	林川 美由樹	hmiyuki@nagasaki-u.ac.jp	403	本5階	54
Linguistics		助教	原 由紀恵	harayukie@nagasaki-u.ac.jp		本5階	56
マネジメントの実践		准教授	辺見 英貴	hidetaka.hemmi@nagasaki-u.ac.jp		本6階	59
マネジメントの実践		助教	間島 羽奈子	h.majima@nagasaki-u.ac.jp		本6階	61
日本経済史		准教授	南森 茂太	shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp		本6階	63
開発経済研究	○	教授	三輪 加奈	k-miwa@nagasaki-u.ac.jp		本6階	65
租税法研究		准教授	森田 顕仁	akihito.m@nagasaki-u.ac.jp	331	本6階	67
地域経済学		准教授	山口 純哉	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	69

〈注〉研究室欄 本：本館 東ア：東南アジア研究所 研究室は、本冊子末尾の配置図を参照のこと。

※電話をかけるときは、各教員の内線番号の前に「095-820-6」をつける。

※携帯電話からメールを送信する場合は受信拒否設定を解除しておくこと。

教員からの返答が滞る場合は、必ず確認をとること。

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000701	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	VIEIRA AMARO, Bebio / VIEIRA AMARO, Bebio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	VIEIRA AMARO, Bebio / VIEIRA AMARO, Bebio		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	VIEIRA AMARO, Bebio / VIEIRA AMARO, Bebio		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3rd year undergraduate students of the Faculty of Economics. 3年次で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	bvamaro▲nagasaki-u.ac.jp (Please change ▲ to @ when sending your e-mails.)		
担当教員研究室/Office	Faculty of Economics, Main Building (経済学部本館)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Students must send an email first to schedule an appointment. Normally, office hours are on Thursdays, 15:00-17:00.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Seminar Title (演習題目): Research on Urban Environments & Spaces (都市環境・空間の研究) Research Themes (課題テーマ): Introduction to GIS for Analysing Urban Problems (都市問題の分析への地理情報学入門) Seminar Contents & Teaching Method (内容と方法): Important Note: this Special Seminar (for 3rd year students) and the Graduation Thesis Seminar (for 4th year students) will be conducted entirely in English. 専門ゼミかつ卒研ゼミは完全に英語で実施される。 GIS (Geographic Information Systems) is a type of software that is used mostly for mapping the world around us (ex: Google Maps, GPS navigation, etc.), but it can also be used for understanding various types of urban problems, such as: changes in land prices, economic inequality between communities, pollution, population dynamics, disaster vulnerability, mobility, access to crucial services such as health care, logistics, revitalization of historical urban centers, positioning of important infrastructure, etc. This seminar is divided into two semesters: [First Semester] In the first 15 classes, students will learn the basic functions of two open-source software programs named QGIS and Zotero. With these two tools, students will collect data related to their chosen research topic, read and discuss academic papers/online videos in English, and review how to write in Academic English (especially footnotes and bibliographies). Depending on the number of students, the work of reading and presenting the contents of academic papers might be done either individually, or as a group activity. [Second Semester] If necessary, students will continue to read and debate the contents of academic papers in English. at the same time, students will regularly present the progress of their research topic to other students. Students must make comments on each others' work, and make suggestions for improvement. At the end of the year, students must submit a final report (6-10 A4 pages) with a detailed proposal for their graduation thesis. In the 4th year "Graduation Thesis Seminar," students must work diligently to write their		

授業到達目標/Course goals	[1] To understand the basic concepts of Geographical Information Systems and Spatial Analysis. [2] Learn the basic features of QGIS and how to use open data (available on the internet) for conducting simple types of spatial analysis. [3] Learn where to find statistical data (ex: in libraries and government buildings) and how to digitize such data in order to insert it into QGIS. [4] Practice reading and discussing challenging English academic papers related to the topics of spatial analysis, community culture, politics, psychology, healthcare, economics, etc. [5] Practice how to collect and organize data in order to improve your graduation thesis research proposal. [6] Learn how to write footnotes and bibliographies in a rigorous manner. These goals are linked to the following Diploma Policy (DP) goals of the Faculty of Economics: DP-5: To attain the ability of acquiring knowledge and using it in various ways to discover/create new values, and also to convey your findings to other people. [1] 地理情報システム (GIS) と空間分析の基本的な概念を理解すること。 [2] QGISの基本機能と、インターネット上で利用可能なオープンデータを使用して、簡単な空間分析の方法を把握すること。 [3] 統計データの探し方 (例: 図書館や政府機関) を学び、そのデータをデジタル化してQGISに挿入する方法を理解すること。 [4] 空間分析、コミュニティのカルチャー・日常的な振る舞い、政治、心理学、ヘルスケア (例: 精神的健康)、経済などのテーマに関連する英語の学術論文を解説し、討論すること。 [5] 卒業論文研究計画を改善するために、データを収集し整理する方法を身につけること。 [6] 注釈や参考文献を厳密に書く方法をマスターすること。 本専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐汎用的能力 / Generic Competence ☒倫理観 / Ethics ☐多様性の理解 / Understanding Diversity ☒主体性 / Autonomy ☐協働性 / Cooperativeness ☒考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☒C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☒D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	[1] Student Attendance & Participation (Activities/Discussions/Peer feedback): 40% [2] Class Assignments (presentations, final report): 60% Note: this seminar expects a high level of commitment towards academic excellence and self-improvement. Students are expected to engage with this seminar in a proactive manner, do the necessary work every week, come to every class on time, and provide good feedback for other students' work. Otherwise, students might be at risk of failing the
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Preparation before each class: read the assigned materials (academic papers, online videos, etc.) and prepare careful notes. In some cases, it might be necessary to prepare a simple presentation of the materials for other students to discuss. Students should also regularly visit libraries to collect data related to their research topic. (Time: usually 1-2 hours per week, but sometimes it might reach as high as 4-5 hours per week).
キーワード/Keywords	GIS, Urban Environment, Urban Revitalization, Spatial Analysis

教科書・教材・参考書/Materials	All of the necessary reading materials will be provided by the teacher during the first class. If students want to get a quick idea about the contents of the seminar, they can take a look at the following books at the library: [1] Title: A manual for writers of research papers, theses, and dissertations : Chicago Style for students and researchers Author: Kate L. Turabian ; revised by Wayne C. Booth ... [et al.] URL: https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB25920622 [2] Title: Spatial statistics illustrated Authors: Lauren Bennett, Flora Vale URL: https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BD03793446 [3] Title: シカゴ・スタイル研究論文執筆マニュアル Author: ケイト・L・トゥラビアン編 ; ウェイン・C・ブース [ほか] 改訂 ; 沼口隆, 沼口好雄訳 URL: https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB10584055 [4] Title: オープンデータとQGISでゼロからはじめる地図づくり Author: 青木和人著 URL: https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BD02766335 [5] Title: The ESRI guide to GIS analysis, Volume 1: Geographic patterns and relationships Author: Andy Mitchell URL: https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BD03214797 [6] Title: The ESRI guide to GIS analysis, Volume 2: Spatial measurements and statistics Author: Andy Mitchell, Lauren Scott Griffin
受講要件（履修条件）/Prerequisites	Requirements regarding registration in other courses: none. In other words, students are not required to have taken other specific courses before this seminar. 受け入れコース・領域：コースは問わない。 Recommendations for taking other classes before applying for this seminar: if possible, it is recommended to take the "Academic English" course before registering for this seminar, and to take a close look at the list of recommended books. あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：要件ではないが、可能であれば、本ゼミを登録する前に「Academic English」の科目を履修し、推奨図書のリストをよく確認することをお勧めする。 Possibility of doing an early graduation: It is not allowed to take this "Special Seminar" and the "Graduation Seminar" at the same time. 早期卒業受け入れ：否 Other prerequisites: none. その他必要な要件： なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp

備考 (URL) /Remarks (URL)	[1] This seminar will only be taught face-to-face, in English. [2] If a student repeatedly fails to arrive on time for class (or misses three or more classes in a row) without a good reason, they might lose a lot of points during the final evaluation. [3] Students are expected to bring their laptops to every class. They are also required to install in their laptops the free software programs QGIS and Zotero. [4] The contents of each class and overall structure of the course might change slightly, depending on the final number of students and their research topics. [5] Since this seminar can receive students from very different backgrounds, a small number of the first lectures might repeat contents from other courses, such as "Academic English." This is done to ensure that all students are at a similar academic level before starting their research. [6] Instructions for applying to this course: before the application deadline, send an email to the teacher, with the subject words "Application Request for Special Seminar (Student Name + Number)." Also attach to the email a Word file (A4 size, 1 page maximum) with the following information in English: (a) Student Name & Number; (b) a quick self-introduction; (c) why you are interested in taking this seminar; (d) what is the general research topic that you are interested in investigating; (e) which interview date you wish to choose. The interview will be conducted in English.. [7] If too many students apply for this course, the final selection will be made by
学生へのメッセージ/Message for students	As is common knowledge, this "Special Seminar" lasts 1 full year, and it is connected with the "Graduation Thesis Seminar," which also lasts one full year. In total, students must spend a period of two years (the 3rd and 4th years) studying under the same teacher. Therefore, in order for students to achieve the best possible results, they must be prepared to make a serious commitment of their time and energy on a weekly basis. This seminar expects students to be self-disciplined, to communicate regularly with the teacher, to be trustworthy, and to have good time management skills. Also, even though the first half of the seminar will have lectures where students must learn things in a passive manner, it will also ask students to study relatively challenging academic papers in English, to comment on each others' work, to discuss difficult topics, and to present their own work to other students. Finally, students are expected to take on a positive and proactive attitude towards their learning, and to use their free time to do fieldwork surveys, or search for statistical data in libraries or city halls, etc. In some cases, students might also have to use their free time to transcribe statistical data into spreadsheets or digitize old maps in QGIS. When students write their final report, they must include a broad list of bibliographic references, written impeccably according to a major citation style such as Chicago, or MLA, etc. In sum, please consider the contents of this syllabus and the requirements of this
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-15	[First Semester Classes] Revision of How to Write in Academic English; Introduction to QGIS (Tutorials); Presentation and Discussion of Academic Papers/Online Videos.
16-30	[Second Semester Classes] Presentation and Discussion of Academic Papers/Online Videos; Presentation and Discussion of Each Student's Research Topic/Report.

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000702	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Eメールアドレス: smile@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階506研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的には、月曜日の3限とする。左記の時間帯を含め、質問等で面談を求める場合は、まずメールにて要請を行うこと。 Eメールアドレス: smile@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	以下の内容を記入ください。 演習題目: 憲法問題の探究—比較法的手法を用いながら— 【内容と方法】 内容: 世界各国の憲法の規定内容や憲法理念をめぐる具体的問題を比較法的に考察する作業を通して、国の根本規範である憲法の存在意義ならびに日本国憲法における普遍的な価値と独自の価値について改めて確認する。加えて、受講生が、憲法と自身の生活との密接な繋がりを認識し、憲法理念を活かすという作業の重要性に気づくことを目指す。 方法: (専門ゼミ)ゼミ生が主体となって研究・発表・議論を行うものとする。具体的な演習の進め方については、最初の時間にゼミ生と相談して決定する。 (卒研ゼミ)各自、自らが選択したテーマに即した研究方法を用いて研究を行い、その成果を卒論という形で発表する。		
授業到達目標/Course goals	専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3: 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 DP-4: 現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけることができる。 ●自身の意見とは異なる意見の存在を肯定できる。 ●異なる価値観を持つ者と意見交換をすることができ、また互いに刺激を与え合うことができる。 ●自身の考えを論理的に文章で著述することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度(20%)、授業への取組み・貢献度(25%)、研究報告内容(レジュメ及びパワーポイントの作成を含む)並びにディスカッションの内容(55%)の総合評価とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：自身が担当しない研究報告のテーマと関連する国内外ニュース記事等チェックする。(2h) 事後学習：研究報告とディスカッションをふまえ、それに関係するさらなる文献等に目を通した上でレポートを作成する。(2h)
キーワード/Keywords	立憲主義・民主主義・国民主権・基本的人権の保障・平和主義
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特にしてせず、研究テーマごとにその都度推薦することとする。 【参考文献】 初宿正典・辻村よみ子『新解説 世界憲法集 第5版』三省堂 2020年。 高橋和之編『新版 世界憲法集』岩波書店
受講要件（履修条件）/Prerequisites	以下の内容を記入ください 受け入れ領域：全領域 早期卒業受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	日本だけでなく国際社会の動向に関心・興味を持つ学生、また、英語で書かれた文献を読むことを厭わない学生を望む。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介及び研究テーマ、方法についての協議。
第2回	研究テーマ（複数）の決定及び優先順位の確定、グループ分け。
第3回	グループ単位の作業。または担当教員による講義。
第4回	グループごとのプレゼンテーション及び全体での討論。
第5回	前回の討論を受けてさらなる研究テーマの設定。グループ再編成の可能性あり。
第6回	グループ単位の作業。
第7回	グループごとのプレゼンテーション及び全体での討論。第1テーマについての総括。
第8回	新しいテーマへの移行。グループ再編成あるいは個人による作業。
第9回	グループまたは個人単位の作業。あるいは担当教員による講義。
第10回	グループまたは個人単位の作業。
第11回	グループまたは個人単位での発表及び全体討論
第12回	同上。上記を受けてのテーマの拡大。研究内容の分担。グループまたは個人単位の作業。
第13回	グループまたは個人単位での作業。教員による補足説明等。
第14回	グループ及び個人による発表及び討論。
第15回	同上。テーマの総括。
第16回	全体の総括。及び教員による卒論作成に向けての説明。

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000703	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階603号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：企業ファイナンス 課題テーマ：企業の資金調達及びその使い道の基礎的な理論について学ぶ。 またその理論を検証するための実証分析手法について学ぶ。 内容と方法：企業金融に関するテキスト、計量経済学に関するテキストを輪読する。また実証分析に必要なプログラミング、文献レビューの方法についても学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義への参加度 (100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 次回のテキスト範囲の要約資料作成。プレゼン担当であればスライド資料作成。その他練習問題等の課題。(2h) (復習) グループディスカッションで議論した内容の整理。(1h)		
キーワード/Keywords	資金調達/資本構成/フリーキャッシュフロー/平均分散アプローチ/CAPM/コーポレートガバナンス/情報の非対称性/最小二乗法		
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト候補は未定です。2025年度は以下を使用しました。 松浦寿幸「Rによるデータ分析入門：経済分析の基礎から因果推論」 東京図書		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：ミクロ経済学、計量経済学、金融論に関連する講義を多く履修しているほど望ましい。必要に応じて該当科目を履修してもらう予定です。 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	毎回の講義は、各受講生が事前に読んできたテキストの内容や、解いてきた練習問題に関するグループディスカッションが中心になります。グループディスカッションに抵抗感がないことが望ましいです。 またデータ分析を行うため、プログラミング言語(基本的にR)を勉強してもらいます。プログラミングに抵抗感がないことが望ましいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回-第15回	毎回：企業金融に関するテキストor計量経済学に関するテキストの輪読, ディスカッション
第16回-第30回	毎回：計量経済学orプログラミングに関するテキストの輪読, ディスカッション

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000704	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	ゼミナール着要件を満たす学生。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	+81-95-820-6384		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月 1-2限 火 終日 水 終日 木 1-2限 金 3-7限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本演習科目は、文献講読と工場見学と調査を通じて、人的資源管理にまつわる現象と諸説を学びます。PCアプリケーション操作を通じて、関連するデータを取り扱う手法についても学びます。		
授業到達目標/Course goals	1. DP1(課題発見力・探求力): 現代社会に内在する諸課題を発見,これを探求し,解決できる。 2. DP3(高度な専門知識): 経済もしくは経営の分野に関する高度な専門知識を身につける。 3. DP4(知識の応用及び課題解決力): 専門知識を駆使して, 現代社会の課題を解決する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ハンドアウトと報告書、論文にて実施します。ルーブリックは研究室案内 (https://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/staff/yuzuru/seminar/introduction_to_yuzurulab.html)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	メンバー決定後に当方より指定します。		
キーワード/Keywords	人的資源管理		
教科書・教材・参考書/Materials	相談して決めましょう。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	1. ゼミナール着要件を満たすこと。 2. 人的資源管理という領域に関心を持つこと。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks (URL)	当研究室に関する詳細はWebをご参照ください。 https://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/staff/yuzuru/seminar/introduction_to_yuzurulab.html		

学生へのメッセージ/Message for students	人的資源管理について学ぶことを通じて、諸君が人生を切り開く能力を開発すること、および人類社会に貢献できる人物になることを目指します。ついでに、学問や科学は楽しくまたおそれるべきものであることを理解してくれるとありがたいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	資料をつくる方法
第3回	輪読および工場見学準備
第4回	PCアプリケーション指南
第5回	輪読および工場見学準備 (つづき)
第6回	輪読および工場見学準備 (つづき)
第7回	輪読および工場見学準備 (つづき)
第8回	工場見学
第9回	工場見学に関する報告
第10回	PCアプリケーション使い方指南
第11回	輪読および工場見学準備 (その2)
第12回	輪読および工場見学準備 (その2・つづき)
第13回	輪読および工場見学準備 (その2・つづき)
第14回	輪読および工場見学準備 (その2・つづき)
第15回	輪読および工場見学準備 (その2・つづき)
第16回	工場見学 (その2) 報告
第17回	輪読および工場見学準備 (その3)
第18回	PCアプリケーション指南
第19回	輪読および工場見学準備 (その3・つづき)
第20回	輪読および工場見学準備 (その3・つづき)
第21回	輪読および工場見学準備 (その3・つづき)
第22回	輪読および工場見学準備 (その3・つづき)
第23回	輪読および工場見学準備 (その3・つづき)
第24回	輪読および工場見学準備 (その3・つづき)
第25回	輪読および工場見学準備 (その3・つづき)
第26回	工場見学 (その3)
第27回	工場見学 (その3) 報告
第28回	卒業論文執筆に関する説明と資料探索実習
第29回	卒業論文執筆に関する説明と資料探索実習 (つづき)
第30回	総括

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000705	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡崎 洋太郎 / OKAZAKI YOTARO		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡崎 洋太郎 / OKAZAKI YOTARO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡崎 洋太郎 / OKAZAKI YOTARO		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yotaro.okazaki ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館 6 階 6 2 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	Eメール参照		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの前後に遠慮なく質問して頂いて大丈夫です。また、Eメールでの問合せは随時受け付けますし、Eメールで事前に日程調整をして頂ければ別途対面やオンラインでの対応も致します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目: 政策マインドの涵養(国際貿易・経済を素材として) 課題テーマ: 経済上の諸問題と国際貿易との関係 内容と方法: 国際経済関係のテキストの輪読(概要報告+討論)、国際経済に関係する時事トピックに関する討論、班別共同研究(学外発表)		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自らの報告・発表(質疑・コメントへの対応を含む)[40%]、他の学生の報告・発表に対する質疑・コメント[20%]、共同研究への貢献[40%]を基に評価し、合計60点以上を合格とする。 予め決められたゼミ生が、順番に各テーマのテキストの該当箇所を自ら作成したパワーポイント資料を用いて報告し、当該ゼミ生による質疑応答や全員での討議を行う。次に、予め決められたゼミ生が、順番に時事トピックを挙げて、そのトピックについて討議を行う。討議の司会は当該ゼミ生が行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)テキストの輪読については、事前に読み込んで議論の準備を行う(発表者は発表資料も作成)。共同研究については、各自担当分の研究を進める。(2h) (復習)テキストの輪読については、ゼミでの議論の内容を整理し理解を深める。共同研究については、ゼミでの議論を踏まえ、方向性・内容について再検討する。(2h)		
キーワード/Keywords	GATT、WTO、EPA/FTA、保護貿易、貿易救済		
教科書・教材・参考書/Materials	石川城太・椋木寛・菊池徹著「国際経済学をつかむ【第2版】」(有斐閣 2013年)		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：特になし 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	専門ゼミは対面で行います。LACSへのアクセス可能なノートPC等を必ず持参すること。
学生へのメッセージ/Message for students	・日本経済が直面する諸課題と国際貿易との関係に関心を有する学生を歓迎します。 ・ゼミ活動を通して、探求心を持って課題に取り組む主体性と自己と異なる見解にも耳を傾けて共同で作業を進めていくことのできる協調性を兼ね備えた人物となることを期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	岡崎洋太郎 / 財務省では、国際貿易や開発協力、関税、税関行政等に関する実務を経験し、金融庁では、証券分野での国際協力（調査・法執行）等の業務を担当。世界税関機構（WCO）への出向経験のほか、国際機関等に関する業務経験としては、経済協力開発機構（OECD）、証券監督者国際機構（IOSCO）、環太平洋パートナーシップ（TPP）、東南アジア諸国連合（ASEAN）、世界貿易機関（WTO）等。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-30	「 国際経済関係のテキストの輪読（概要報告＋討論）＋ 国際経済に関係する時事トピックに関する討論」と「 班別共同研究」を原則として隔週で行う。（対面）

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000706	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	神園 健次 / Kamizono Kenji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	神園 健次 / Kamizono Kenji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	神園 健次 / Kamizono Kenji		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-kamiz@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階611号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6377		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問はメールまたはLACSのメッセージで、いつでも受け付けます。対面やオンラインでの質問も受け付けます。事前にメールまたはLACSのメッセージで、都合の良い日時をお知らせください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：サステナブル金融 課題テーマ：サステナブル社会への移行において金融機関が担う役割の重要性や発展の可能性について考える。 内容と方法：専門ゼミでは、担当ゼミ生がその日に取り扱う内容について、テキストに沿って解説を行い、皆で討論することによって、理解を深めます。また、適宜関連する研究論文を読み、最新の研究動向を調査します。卒研ゼミでは、サステナブル金融に関して各自で選択したテーマについて卒論を執筆します。卒論テーマとしては、例えば「気候変動リスクはいかにして資産価格へ反映されるか」、「カーボンニュートラル経済の実現に向けた地域金融機関の取り組み」などが考えられます。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度, 授業への取り組み(100%)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習課題としてテキストの精読を求めます。(各2h)		
キーワード/Keywords	サステナビリティ, 金融, 排出権取引, カーボンクレジット, プラネタリーヘルス		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 吉高まり『サステナブル 金融が動く』金融財政事情研究会 2023年 参考書: ディアーク・シューメイカー, ウィアラム・シュローモダ『サステナブルファイナンス 原論』金融財政事情研究会 2020年 野村総合研究所『排出量取引とカーボンクレジットのすべて』エネルギーフォーラム 2023年		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 受講要件：可能な限りデータを用いた実証分析を取り入れる予定ですので、数学、統計学、計量経済学に精通していただきます。ExcelやRができれば、なお望ましいです。 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	受講希望者に対する課題は以下の通りです。 金融庁『サステナブルファイナンス有識者会議報告書』（2021年6月18日） https://www.fsa.go.jp/news/r2/singi/20210618-2/01.pdf を読み、内容を1600字程度で要約しなさい。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～第30回	研究報告とディスカッション

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000708	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	工藤 健 / Kudo Takeshi		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkudo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部(片淵キャンパス)本館5階521研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週月曜日16:10 - 18:20 E-mailおよびLACS科目掲示板でも質問を適宜受付。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目: 経済政策 課題テーマ: 経済政策(金融政策・財政政策と周辺分野)およびマクロ経済に関する分析 内容と方法: ・目的: 経済政策の効果を理論とデータに基づき分析できるようになること。 ・専門的分析能力の修得: (1) 専門書または学術論文の輪読を通じ, 学術的な政策分析に関する理解を深めます。 (2) データ分析演習を通じて, 情報収集やデータ分析能力を身につけます。 (3) 個人またはグループ研究に基づきレポートを作成し, 学内外で発表してもらいます。		
授業到達目標/Course goals	(1) 基本的なマクロ経済分析やデータ分析の方法を身につけている。 (2) 予習内容に基づいて小グループで議論を行い, 考えを共有できる。 (3) 経済分析に基づく研究成果をまとめて論文を執筆し, 公表できる。 以上は次の経済学部のディプロマ・ポリシーに対応する。 (DP-5) 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに, これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	個人またはグループ研究(論文内容, 報告会プレゼン, 貢献度) 40%, 論文輪読・データ分析(議論・報告内容, 提出物の成果など) 60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・事前学習: テキストや事前に配付された資料を用いて所定の様式に基づく「予習ノート」を作成します。(2時間) ・事後学習: 学習の成果や課題, プロジェクトの進行状況をLACSやTeamsにアップロードしてもらいます。(2時間)		
キーワード/Keywords	金融政策, 財政政策, マクロ経済分析, マクロ経済統計, データ分析		

教科書・教材・参考書/Materials	< 研究論文の輪読 > 主な資料として、学部中上級レベルのマクロ経済学関連テキストや『経済セミナー』, Journal of Economic Literatureなどの学術雑誌の記事を扱う予定。詳細は授業開始前に指示する。 < データ分析演習 > 久保克行 (2021) 『経営学のための統計学・データ分析』東洋経済新報社 (ISBN: 978-4492503294)
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	受け入れコース / 領域: 経済コース、経営コース / 国際ビジネス領域、地域デザイン領域、社会イノベーション領域 あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備: マクロ経済学A,B, ミクロ経済学A,B, 統計学 早期卒業受け入れ: 可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	原則として授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	質問は、オフィスアワー (対面またはオンライン) や、電子メールで受け付けます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	ガイダンスとイントロダクション
	データ分析演習
	情報検索ガイダンス
	グループ研究ミーティング
	研究論文の輪読と討論
	グループ研究ミーティング
	グループ研究テーマ報告
	データ分析演習
	グループ研究ミーティング
	研究論文の輪読と討論
	グループ研究ミーティング
	データ分析演習
	グループ研究ミーティング
	グループ研究中間報告
	研究論文の輪読と討論
	グループ研究ミーティング
	グループ研究中間報告
	データ分析演習
	グループ研究ミーティング
	研究論文の輪読と討論
	グループ研究ミーティング
	グループ研究最終報告
	データ分析演習
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習
	研究論文の輪読と討論
	卒業研究テーマ探索
	卒業研究テーマ探索
	卒業研究テーマ報告

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000709	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwahata[at]nagasaki-u.ac.jp * [at]を@にかえて下さい		
担当教員研究室/Office	経済学部本館604研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6354		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜1・2校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：国際経済学 / 国際貿易論 課題テーマ：グローバル化と日本・地域経済の課題 内容と方法：急速に進むグローバル化の中で、日本や地域経済が直面している諸課題を理解・考察するために、中級レベルの国際経済学を学びます。国際経済学のテキストを輪読し、指導教員とのインタラクティブなやり取りを通じて、国際経済及び、日本経済に関する理解を深めます。また、ゼミ内で学んだ事項を基礎として、弘前大学の小谷田ゼミと地域課題の解決をテーマとしたインターゼミ(オンライン)を行います。長崎港・税関の見学、地域ボランティアにも参加します。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」をご覧ください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の内容や質疑応答、グループワークへの積極的な参加など、ゼミナールへの取り組み状況を総合的に判断して評価を付けます。(計100点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】 輪読における各回の担当箇所を事前に読み、理解できない点を明らかにしてゼミナールにのぞんで下さい。当日は疑問点を担当者に質問して下さい。(2h) 【復習】 教科書を再読するとともに興味・関心のある事項については、他の文献を参照して下さい。(2h)		
キーワード/Keywords	国際収支、輸出入、比較優位、規模の経済、海外直接投資、貿易政策		

教科書・教材・参考書/Materials	(教科書) クルーグマン・オブズフェルド・メリッツ 『クルーグマン国際経済学 理論と政策 第10版』 2017年 丸善出版 山本勲 『実証分析のための計量経済学』 2015年 中央経済社 (参考書) 石川城太・椋寛・菊池徹 『国際経済学をつかむ 第2版』 2013年 有斐閣 若杉隆平 『国際経済学 第3版』 2011年 岩波書店 藤田昌久・クルーグマン・ベナブルズ 『空間経済学』 2000年 東洋経済新報社
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：「ミクロ経済学」、「統計学」の履修を推奨します。 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は原則、全て対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	ゼミ生の意向を聞いて、逐次、新しい活動に取り組めたらと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～第30回	テキストの輪読・ディスカッション・グループワーク・研究報告

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000710	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階214番研究室		
担当教員TEL/Tel	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目: 統計学 課題テーマ: 確率論・統計的推測の基礎を習得することを目的とします。また、それらの習得を通じて、わからないことを一つ一つ克服していく力を身につけます。 内容と方法: 統計学の入門・中級レベルのテキストを輪読します。毎回、発表者がテキストの指定範囲を説明し、それをもとに参加者が議論します。また、テキストの練習問題に取り組むこともあります。なお、ゼミは対面式で実施します。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	十分に発表の準備をしているかどうか、発表の態度、理解の程度、出席率をもとに判定します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: ゼミ参加者は指定された学習範囲を学習し、理解しておく。さらに不明な点を明確にしておく(2h)。 復習: 理解の定着を図るために、該当範囲の練習問題を解く(2h)。		
キーワード/Keywords	確率, 確率変数, 確率分布, 期待値, 標準偏差, 各種の分布, 2変数確率分布, 標本分布, 相関, 回帰, 推定, 検定		

教科書・教材・参考書/Materials	宮川公男『基本統計学（第5版）』有斐閣 このテキストは「統計学」「統計学I」「統計学II」の講義で利用した教科書と同じですが、時間の都合上または少し高度であるため講義できなかった内容も多い。それらを含めて最初から丁寧に読み込んでいく予定です。 この教科書を読み進めていく上で、必要な数学の予備知識は、数列の収束、指数関数、微分、（広義）積分、べき級数展開などです。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：「統計学I」「統計学II」（あるいは「統計学」）「経済数学入門」「経済数学」の単位を取得しておくこと。 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	ゼミは対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	わかった気分にならないこと。わからない点があっても、粘り強く考え続けてください。それから、本ゼミに申し込む前に、使用予定である教科書を必ず手に取り、どの章でもよいので一つ選んで熟読し、本ゼミに申し込むべきかどうか十分に検討してください。どんな教科書でも、読み進めて行くにしたがい徐々に難しくなっていきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-30回	発表とディスカッション なおゼミは全て対面で実施する。

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000711	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mshikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館 6 階		
担当教員TEL/Tel	mshikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailにより質問を受け付ける。 mshikimi@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：金融論 課題テーマ：金融に関するトピック 内容と方法：		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	専門ゼミ：主体的・積極的なゼミへの参加態度(約30%)、報告やプレゼンテーション(課題を含む)(約70%)で評価する。 卒研ゼミ：主体的・積極的なゼミへの参加態度(約30%)、卒業論文作成のプロセスと提出された卒業論文(約70%)をもとに評価する。 的に判断する。 両ゼミとも無断欠席は、認めない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)テキストの次回の学習範囲の予習や、指定した動画の視聴、文献探索をしてもらいます。(2h) (復習)ゼミでの内容を整理し理解を深めます。追加調査やグループでの追加作業を求めることもあります。(2h)
キーワード/Keywords	金融取引、資金調達、資本構成、情報の非対称性、企業・銀行関係、企業の財務政策、金融政策、実証分析、OLS
教科書・教材・参考書/Materials	初回のゼミで、候補の中からテキストを選択する。 『コーポレートファイナンス入門編・応用編』ジョナサン・パーク、ピーター・ディマーズ(2014)、丸善出版 内田浩史『金融』有斐閣、2016年。 山本拓・竹内明香『入門計量経済学』新世社、2013年。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース:全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備:ミクロ経済学、マクロ経済学、金融論、統計学、計量経済学 国際ビジネスプログラム受け入れ:可 早期卒業受け入れ:可 その他必要な要件:"
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	基本、対面で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	主体的に熱心に学ぶ学生を求む。英語が苦手でない人がよい。 卒研ゼミでは、金融に関するトピックについて実証分析を行ってもらいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
1~30回	研究報告とディスカッション

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000712	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	朱 宝玲 / ZHU BAOLING		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	朱 宝玲 / ZHU BAOLING		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	朱 宝玲 / ZHU BAOLING		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	syu-hourei ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所312		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後に適宜対応する時間を設ける予定です。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目: ビジネス法務(商法・会社法・独禁法)研究 課題テーマ: ESG経営・サステナビリティと会社法の役割、コーポレート・ガバナンス・コードと日本会社法、デジタル化と会社法・競争法など。内容と方法: 上述参考書を含めて文献一冊以上を選択し、その概要を報告、概要報告を踏まえた議論、ディベート、卒業論文で取り上げるテーマに関する研究発表を行うことで進める。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	演習における課題の報告(50%)、他の学生の報告に関する積極的なコメント・発言(20%)、演習の運営に対する積極的な貢献(30%)に基づき、総合的に評価する。 なお、「演習の運営に対する積極的な貢献」には、メール等により、教員と円滑なコミュニケーションを取ることが出来るかどうかが含まれる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習) 毎回、協議の上担当者を決め、課題について報告するので、課題に関係する文献の読み込みや演習で発表することに向けた準備をするよう求められる。(3h) (事後学習) 報告後、教員や他の学生から受けたコメントを踏まえてさらに改善することが求められる。(1h)		
キーワード/Keywords	商法・会社法・独禁法等企業に関わる法の解釈・適用		
教科書・教材・参考書/Materials	神田秀樹『会社法』2025年3月・弘文堂、近藤光男『現代商法入門』有斐閣(2021年3月)、白石 忠志『独禁法講義』有斐閣		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース 受講準備：民法履修
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	本ゼミは、対面方式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	時間と労力を惜しまず、企業に関わる法と経済・社会問題について考えを深めたい、学びたい、という姿勢の学生を歓迎する。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	弁護士実務経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～30回	輪読、研究報告、ディスカッション（詳細な計画については、随時配付する資料により説明します）

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000713	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	徐 陽 / Yang Xu		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3、4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jxuyang▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部研究室 本館508		
担当教員TEL/Tel	6-373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの前後の時間を原則とするが、具体的には、開講時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：制度会計 授業の概要：企業のステークホルターの利益を調整するシステムとしての企業会計に関する法規制（会社法会計）について、計算と監査と開示の連関的規制を重視する見地から、日本会計基準を学習していく。必要に応じて国際会計基準との違いも説明する。会計学の事例を用いて学習し、諸問題点を見つけ、検討していく。 具体的な方法は、教科書の各章について、分担して報告を行う。報告者は担当部分の内容をプレゼンテーションおよび質疑応答を行い、報告者以外の者も、事前に内容を読んで問題意識を持ち、その内容について全員で議論する。ゼミでは、毎回、報告者以外の参加者にも自分の考えや論点を述べることを求める。授業は対面とリアルタイムオンライン等により行う。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業の参加度、課題への取り組み、主体的・積極的なゼミへの参加態度、報告やプレゼンテーション、討論への姿勢等を総合的に評価する。具体的にはプレゼンの準備状況（30%）、討論への参加状況（20%）、各期ごとに提出する課題で評価する（50%）。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：テキストの次の学習範囲や参考文献の箇所を予習するとともに、関連内容の文献を事前に探索すること。報告者は報告内容を分かりやすく説明できるパワーポイントを作成すること。（2h） 復習：指導内容等について復習し、紹介されたHPや文献で理解を深めること。わからない点は友人や教員に質問し、解決すること。（2h）		
キーワード/Keywords	日本の会計基準、国際財務報告基準（IFRS）		

教科書・教材・参考書/Materials	永野則雄著『ケースでまなぶ財務会計』（最新版）白桃書房 企業会計基準委員会（ASBJ）のホームページを随時参考にすること。なお、IFRSに関する動向に合わせて参考資料を追加する予定である。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 早期卒業受け入れ：可 その他必要条件：「簿記」と「財務会計論」の講義修済み学生が望ましい
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	・授業は原則として対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。 【参考URL】 国際会計基準審議会（IASB）： https://www.ifrs.org/ 日本公認会計士協会（JICPA）： https://jicpa.or.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	・面接時に、A4用紙 1枚にまとめた自己紹介文（800字程度、志望理由を含む）を持ってくること。 また、事前にメール添付により送信すること。 ・ゼミの参加には、十分に予習した上で積極的な態度で臨むこと。 ・遅刻をせずにきちんと出席すること。特別な事情があるとき事前に連絡するようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	財務会計を学ぶ意義
第2回	会計をめぐる2つのドラマ
第3回	会計の役割と規則
第4回	財務諸表における表示
第5回	財務諸表を読むーやさしい経営分析
第6回	会計の計算原理
第7回	棚卸資産
第8回	有形固定資産
第9回	無形固定資産と繰延資産
第10回	金融資産
第11回	負債
第12回	純資産
第13回	収益・費用・税金
第14回	連結貸借対照表と連結損益計算書
第15回	その他の財務諸表・開示
第16回	決算ー真実な報告と会計戦略

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000714	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所 2 階		
担当教員TEL/Tel	連絡はメールを利用してください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの時間の前後。またはメールで連絡を取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：社会言語学 課題テーマ：ことばの多様性 内容与方法：社会言語学で扱う内容を概観し、その中で各自が最も興味を引かれるテーマに関して調査、考察してレポートにまとめます。また、プレゼンテーションの練習も行います。自分の研究テーマについての考察内容をわかりやすく伝え、討論することができるようになる。現代社会の中で言葉に関わる現象、問題点を見つけ出し、他の関連領域についても調査して、広い視野での分析ができるようになる。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート40点 + ゼミへの貢献度60点(ルーブリックを用いて評価する) 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[事前学習] 配付資料や参考文献等に目を通してください。また、プレゼンのための資料作成が必要な時もあります。(2h) [事後学習] ゼミで取り扱ったトピックスについて考察した内容を文章にしてLacsで提出する。(2h)		
キーワード/Keywords	言語の多様性、言語変種、言語差の要因		
教科書・教材・参考書/Materials	開講時に連絡します。また、必要な資料は適宜配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース 早期卒業受け入れ：否		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	無断欠席は厳禁です。確実に連絡が取れるメールアドレスを教えてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	各自の関心がある内容について確認し、個人発表の予定を決める。
第2回	班別の研究テーマを決める
第3回	担当者発表とディスカッション
第4回	担当者発表とディスカッション
第5回	担当者発表とディスカッション
第6回	文献研究・班別研究
第7回	文献研究・班別研究
第8回	文献研究・班別研究
第9回	班別研究報告とディスカッション
第10回	班別研究報告とディスカッション
第11回	班別研究報告とディスカッション
第12回	文献輪読とディスカッション
第13回	文献輪読とディスカッション
第14回	文献輪読とディスカッション
第15回	レポート作成について
第16回	各自のレポートを基にした発表の割当てを決める。 文献輪読とディスカッション
第17回	文献輪読とディスカッション
第18回	文献輪読とディスカッション
第19回	担当者発表とディスカッション
第20回	担当者発表とディスカッション
第21回	担当者発表とディスカッション
第22回	担当者発表とディスカッション
第23回	担当者発表とディスカッション
第24回	卒論テーマについて議論
第25回	担当者発表とディスカッション
第26回	担当者発表とディスカッション
第27回	担当者発表とディスカッション
第28回	担当者発表とディスカッション
第29回	担当者発表とディスカッション
第30回	各ゼミ生の卒論のテーマについての確認

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000715	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階631鈴木研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則として講義終了後に受け付けています。別の時間帯を希望される場合やEメールで対応可能なものについては sigh@nagasaki-u.ac.jp にてご相談願います。Eメールや電話以外の連絡手段については開講時に連絡します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「実践的エコノミスト」の養成に照らして設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生が主体的な学習を行う演習科目であり、1年間を通して一人の教員の指導のもとに履修する必修科目となります。各ゼミは9~20名の少人数で構成されるため、履修希望者が多い場合は教員と履修希望者との面接等を実施し選抜を行います。専門ゼミの単位修得後は原則として同一教員の指導のもとに卒研ゼミを履修することになります。 演習題目: コンピュータセキュリティ 課題テーマ: コンピュータネットワークを利用する際に必要となるセキュリティに対する基本的な考え方について学習します。 内容と方法: 演習で扱う内容としては、プレゼンテーションの練習、コンピュータの動作原理の理解、プログラミングの考え方の理解、プログラミング実習、ハードウェア制御の理解と実習、実社会におけるセキュリティの考え方の理解、コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方の理解についてを、それぞれ2~6回の講義時間を一つのユニットとしてグループワーク形式で討論や成果物の作成を行ってもらいます。ユニットにおける講義回数は、それぞれ (3,5,5,6,6,3,2) 回となります。		
授業到達目標/Course goals	以下の内容を記入ください。 経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 令和3年度以降入学者 DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。 令和2年度以前入学者 DP-3: 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 DP-4: 現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。 具体的には、コンピュータの基本的な動作原理やコンピュータネットワークの仕組みについて自分の言葉で説明し、その問題点について指摘や、その改善方法について討論することができるようになることを授業到達目標としています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時間2～6回を1つのユニットとしてグループワークを行ってまいります。ユニットにおける講義回数は、それぞれ (3,5,5,6,6,3,2) 回となります。 それらの課題への取り組み方: 30%、主体的・積極的なゼミへの参加態度: 40%、報告やプレゼンテーション: 30%をもとに100点満点に換算し、60点以上を合格とします。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各ユニットの初回講義日に、ユニット内の最終となる講義日に発表を行ってもらう内容と、理解や作業に有用な参考資料、目安となる作業時間等を提示します。成果物作成には講義時間以外にもグループでの作業が必要となります。 それぞれの講義時間内で進捗報告等を行う時間を設けているため、 予習内容としては、グループワークを円滑に進めるための準備 復習内容としては、講義時間内に得られた知見を最終報告に向けての反映 として、1週あたり平均して予習・復習にそれぞれ2時間を想定しています。
キーワード/Keywords	プログラミングの考え方 実社会におけるセキュリティの考え方 コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方
教科書・教材・参考書/Materials	テキストは演習参加者と相談の上で決定します。演習導入時点でのテキスト候補としては、梅津 信幸「あなたはコンピュータを理解していますか?」ソフトバンク クリエイティブとなります。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	専門ゼミを履修するためには、次に掲げる単位数を修得している必要があります。 - 令和3年度以降入学者 (1) 教養教育科目の修得単位数が22単位以上(外国語科目6単位以上を含む) (2) 専門教育科目の修得単位数が26単位以上 - 令和2年度以前入学者 (1) 教養教育科目の修得単位数が28単位以上(外国語科目8単位以上を含む) (2) 専門教育科目の修得単位数が20単位以上 受け入れコース: 全てのコース 早期卒業受け入れ: 否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (Tel) 095-819-2006 受付時間: 9:00 ~ 17:30 土日祝休 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	授業は教室での対面形式を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン形式に変更される場合があります。 https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	・コンピュータを扱う技能を習熟している必要はありませんが、使用に抵抗感を持たないこと、通常以上の努力・精進ができることは要求します。 ・休業期間中や課外時間を用いて集中的なサブゼミを行ないます。ゼミ活動を優先できるようにしてください。 質問等はメール、または、経済学部本館6F 631鈴木研究室にて直接問い合わせてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
ユニット1	自己紹介とプレゼンテーションの練習

ユニット2	コンピュータの動作原理の理解
ユニット3	プログラミングの考え方の理解
ユニット4	プログラミング実習
ユニット5	ハードウェア制御の理解と実習
ユニット6	実社会におけるセキュリティの考え方の理解
ユニット7	コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方の理解

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000716	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後、またはメールでアポイントメントを取った日時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：マネジメントの実践 課題テーマ：体験型PBLによるマネジメント実践力の養成 内容与方法：本ゼミの活動はクライアント企業と共同で行われる。4名程度からなるチームを編成し、各チームにプロジェクトが割り当てられる。プロジェクトを進捗させていく過程において、課題設定や背景理解、課題解決策の模索、提案、およびその実施から検証までを主たる活動内容とする。参加者はゼミ活動を通じて、自主的に問いを立て、解決方法を模索し、仮説を立てて検証することが求められる。		
授業到達目標/Course goals	経済学部 HP 「受講手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 本講義は、次 のDP を授業到達目標としています。 DP5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み(60%)、中間報告・最終成果報告(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：次回ゼミ内容の確認、事前調査(2h) 復習：ゼミ活動内容の振り返り(2h)		
キーワード/Keywords	社会人基礎力、経営戦略、プロジェクトマネジメント、デザイン思考		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて紹介する		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目：「プロジェクト・リテラシー」「ビジネス・リサーチ」 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。学研災付帯賠償責任保険(Aコース)の加入を義務付ける。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面で実施する
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～第30回	プロジェクトの計画、実施、発表など

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000717	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田村 由美子 / TAMURA YUMIKO		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田村 由美子 / TAMURA YUMIKO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田村 由美子 / TAMURA YUMIKO		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ytamura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階606研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日14:00~17:00、水曜日11:00~14:00 (開講後に調整の可能性あり) メールでの質問も可 (ytamura@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：国際開発支援 課題テーマ：開発途上国への国際支援とその政策 内容と方法：本ゼミは、開発経済学や国際関係論などの枠組みを用い、開発途上国の社会経済発展における課題を多角的に考察し、その解決策を自ら模索する経験を積むことを目的とします。参加型の講義やグループワークを通じて、自分が開発途上国の政策担当者や援助供与側の専門家になったつもりで、国レベルの開発戦略や案件ベースの支援策を提案してみるという実習も取り入れる予定です。演習受講者の関心や意向を踏まえ、英語の使用を検討します。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」をご覧ください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループワークへの貢献や各自のプレゼンテーション(60%)および中間・期末課題(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)教材の次回学習範囲を一読、演習時の討議や発表の個人やグループでの準備。(2h) (復習)演習での学習・討議内容を整理・理解の確認、追加資料や文献の収集や閲読。(2h)		
キーワード/Keywords	国際協力、開発支援、国際機関、国際開発金融機関、国際開発政策 (授業終了後には、これらのキーワードについて説明できるようになっていることが望ましい)		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書・参考書は演習受講者と相談のうえ決定。その他の参考文献や資料などは適宜配布。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：特になし 早期卒業受け入れ：可		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp"
備考（URL）/Remarks（URL）	演習は特別な事情がある場合を除き対面で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	I look forward to a participatory and interactive seminar where you will feel inspired through intellectual pursuit, mutual learning, and communicative collaboration. Also, I hope to help you gain competency, confidence, flexibility, and resilience to stive toward
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	（公財）国際金融情報センターにて開発途上国の経済予測・カントリーリスク分析、国際開発金融機関であるアジア開発銀行にて開発途上国への支援に従事。これらの実務経験に基づき、開発途上国が現実直面にしている諸問題や解決策について演習受講者の理解促進に努める。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション
2~3	開発途上国の現状と問題、国際開発支援の枠組と活動
4~13	グループワークとプレゼンテーション
14~15	中間まとめ
16~17	国際開発支援の成果と外部評価
18~28	グループワークとプレゼンテーション
29~30	最終まとめ

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000718	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 文静 / ZHAO WENJING		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 文静 / ZHAO WENJING		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 文静 / ZHAO WENJING		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zhaowenjing@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 504研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：民法問題の研究 課題テーマ：私たちの日常生活と密接に関わっている民法は、日常生活にどのように反映されているのか。また、これらの問題が発生する際に、民法の債権法・物権法・家族法の知識をどのように活用してこれらの問題を解決するのか。このゼミを通じて、私たちの生活と民法の関係性を理解させる。また、特定の事情においては、民法の債権法・物権法・家族法が個別に適用されるものではなく、同時に適用される必要があることも明らかにする。 内容と方法：判例評釈。興味のある判例を選べたうえで、判例に関する文献の検索方法を指導する。学生たちは関連文献を読んだうえで判例報告を行う、議論する。また、これらの判例評釈をすることで、卒業論文で取り上げるテーマを考える。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度(20%)、判例報告(50%)、他の学生の報告に関する議論(30%)の総合評価とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)教科書および判例に関する判旨に目を通す。(2h) (復習)ゼミでの内容を整理し理解を深めます。(2h)		
キーワード/Keywords	民法、債権法、物権法、家族法		
教科書・教材・参考書/Materials	例として挙げたもの。参考書はゼミ時に決定する予定。 道垣内弘人『民法入門 第3版』日本経済新聞出版社 潮見佳男・道垣内弘人編『民法判例百選 総則・物権 第9版』有斐閣 窪田充見・森田宏樹編『民法判例百選 債権 第9版』有斐閣		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース 早期卒業受け入れ：可 その他必要な要件：なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	民法に興味のある学生のみならず、一緒に民法の判例を議論し、民法の魅力を感じましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ゼミガイダンス：専門ゼミの流れの紹介、自己紹介ゲーム
第2回～第3回	関心のあるテーマの決定、そのテーマに関する判例の検索、判例報告で取り上げる判例の決定
第4回～第5回	判例ごとのグループ分け、グループ作業による判決文・判例評釈の検索
第6回～第7回	判例報告に向けたレジュメの作成1（グループ作業）：事実概要の作成と判決文の要点抽出
第9回～第11回	判例報告に向けたレジュメの作成2（グループ作業）：争点の確認、争点に関する教科書内容の精練
第12回～第15回	判例報告に向けたレジュメの作成3（グループ作業）：争点に関する裁判所の判断の確認、学説上の見解の分析、自分の考え方の提出
第16回～第20回	グループごとの判例報告
第21回～第30回	判例報告を踏まえ、卒論テーマの決定、先行研究の調査

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000719	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	CHEN MINGYAN / CHEN MINGYAN		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	CHEN MINGYAN / CHEN MINGYAN		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	CHEN MINGYAN / CHEN MINGYAN		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chen.mingyan.56s@gmail.com		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	chen.mingyan.56s@gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて随時受け付けます。面談を希望する場合、事前に日程調整のメールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：動学マクロ経済学 課題テーマ：動学マクロ経済モデル入門 内容と方法：テキストを輪読することで経済成長理論を体系的に理解し、マクロ経済を数量的に分析する理論モデルを学ぶ。あわせてRやOctaveなどのソフトウェアを用いた演習を行い、データ分析や数値計算の手法を実践的に学び、モデルを活用して経済政策の評価に取り組む力を養う。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」をご覧ください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	輪読(40%)、レポート(40%)、授業参加度(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：テキストを読み、発表資料を作成する(2h) 事後学習：ゼミでの内容を復習する。ソフトウェアを利用したプログラミング作業を求めることがある(2h)		
キーワード/Keywords	経済成長理論、動学モデル、数値計算、プログラミング		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書： 北尾早霧・砂川武貴・山田知明 [2024] 『定量的マクロ経済学と数値計算』 日本評論社。 星野匡郎・田中久稔・北川梨津 [2023] 『Rによる実証分析（第2版） 回帰分析から因果分析へ』 オーム社。 Romer, D. (著), 堀雅博・岩成博夫・南條隆 (訳) [2010] 『上級マクロ経済学』 日本評論社。 参考書： 蓮見亮 [2020] 『動学マクロ経済学へのいざない』 日本評論社。 必要に応じて参考文献を随時紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：ミクロ経済学A・B、マクロ経済学 - A・ -B、経済数学 ・ が履修済みであること。統計学 ・ 、計量経済学 ・ が履修済みもしくは履修予定であることが望ましい。 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	原則対面形式
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	経済成長理論入門（講義）
第3回	経済成長理論入門（講義）
第4回	輪読とディスカッション（ソローモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第5回	輪読とディスカッション（ソローモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第6回	輪読とディスカッション（ソローモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第7回	輪読とディスカッション（ラムゼイモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第8回	輪読とディスカッション（ラムゼイモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第9回	輪読とディスカッション（ラムゼイモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第10回	輪読とディスカッション（ラムゼイモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第11回	輪読とディスカッション（ダイヤモンドモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第12回	輪読とディスカッション（ダイヤモンドモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第13回	輪読とディスカッション（ダイヤモンドモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第14回	輪読とディスカッション（ダイヤモンドモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第15回	輪読とディスカッション（ダイヤモンドモデル）、Rを使ったデータ分析演習
第16回	オリエンテーション
第17回	輪読とディスカッション（数値計算の基礎）、Octaveを使ったプログラミング演習
第18回	輪読とディスカッション（数値計算の基礎）、Octaveを使ったプログラミング演習
第19回	輪読とディスカッション（数値計算の概観）、Octaveを使ったプログラミング演習
第20回	輪読とディスカッション（数値計算の概観）、Octaveを使ったプログラミング演習
第21回	輪読とディスカッション（動的計画法）、Octaveを使ったプログラミング演習
第22回	輪読とディスカッション（動的計画法）、Octaveを使ったプログラミング演習
第23回	輪読とディスカッション（時間反復法）、Octaveを使ったプログラミング演習
第24回	輪読とディスカッション（時間反復法）、Octaveを使ったプログラミング演習
第25回	輪読とディスカッション（時間反復法）、Octaveを使ったプログラミング演習

第26回	輪読とディスカッション（ビューリーモデル）、Octaveを使ったプログラミング演習
第27回	輪読とディスカッション（ビューリーモデル）、Octaveを使ったプログラミング演習
第28回	輪読とディスカッション（世代重複モデル）、Octaveを使ったプログラミング演習
第29回	輪読とディスカッション（世代重複モデル）、Octaveを使ったプログラミング演習
第30回	輪読とディスカッション（世代重複モデル）、Octaveを使ったプログラミング演習

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000720	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	釣谷 亮介 / Tsuritani Ryosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	釣谷 亮介 / Tsuritani Ryosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	釣谷 亮介 / Tsuritani Ryosuke		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tsuritanir@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階211番		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡します		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：産業組織論 課題テーマ：ミクロ経済学の分析手法で企業行動を分析する 内容と方法： ・3年次の前期は産業組織論の基礎を Mathematica と呼ばれる有料の計算ソフトウェアを用いて学習します。また、比較的扱いやすい理論論文の探し方や読み方等も学習します。そして、翻訳ソフト等の使い方も指導しつつ、グループに分かれて簡単な研究を進めてもらい、ぼんやりとでも研究のイメージを掴んでもらおうと思っています。 ・3年次後期は各自の関心のあるテーマに応じた産業組織論の教科書の章を輪読します。資料作成と発表が要求されます。そして、ゼミ生の関心に基づき、比較的読みやすい英語論文や流行りの英語論文、国内外の政府が公開しているレポート等を輪読・発表します。また Maxima / Mathematica で論文の計算を再現する課題を課すことがあります。講義内で研究計画を作成する時間を取りつつ、3年次の終了までに卒業論文のテーマを決定してもらう予定です。 ・4年次は各自で決めたテーマをもとに、論文執筆を進めてもらいます。必要に応じて、論文やレポート等を輪読・発表してもらったり、各自の進捗状況について報告してもらったりすることがあります。ゼミ生の希望や進捗状況に応じ、柔軟に対応する予定です。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・専門ゼミ（3年次）： ミクロ経済学A・B、産業組織論の履修は必須とします。これらは3年次の終わりにまでに受講してください。また、経済数学I・II、統計学I・II、計量経済学I・II、応用ゲーム理論の履修も強く推奨します。 成績評価は上記の必須科目の単位取得状況、主体的・積極的なゼミ活動への参加態度、課題、報告やプレゼンテーションをもとに総合的に評価します。 ・卒研ゼミ（4年次）： 卒業論文への熱意（30%）および卒業論文の質（70%）で成績を評価します。 卒業論文の熱意については、分析に対してどの程度努力をしたかで評価します。 卒業論文の質については、オリジナリティやモデルの適切さなどを総合的に評価します。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・3年次 予習：講義資料や発表資料に軽く目を通し、分からない部分を明確にしてください。教科書や論文等を紙に図で再現するなどしつつ、発表資料を作成してください。必要に応じて、参考書等で背景知識を補ってください。(2h-) 復習：モデルを紙に再現し、解き方の流れや直感的なメカニズムを言語化することで理解を深めてください。Mathematicaファイルの作成もおすすめです。とにかく手を動かしてみることが大事です。(2h-) ・4年次 予習：講義に出席する前に、どのような助言を必要としているのかを考えて下さい。それ以外は、基本的には3年次と同じです。(2h-) 復習：講義中に得られた助言に直ちに従うのではなく、自分で取捨選択し、分析の質を上げるようにしてください。それ以外は、基本的には3年次と同じです。(2h-)
キーワード/Keywords	ミクロ経済学、ゲーム理論、産業組織論、企業行動、寡占市場

教科書・教材・参考書/Materials	現時点での輪読の候補は以下の通りです。 ・石橋 孝次 (2021) 『産業組織：理論と実証の接合』 慶應義塾大学出版会。 ・小田切 宏之 (2019) 『産業組織論—理論・戦略・政策を学ぶ』 有斐閣。 ・カブラル ルイシュ (2023) 『企業の経済学 産業組織論入門 (第2版)』 (青木玲子・大橋弘 監訳) 東洋経済新報社。 また、参考までに以下の書籍等を挙げておきます。 ・花園 誠 (2018) 『産業組織とビジネスの経済学』 有斐閣。 ・経済セミナー編集部 編 (2022) 『経済論文の書き方』 日本評論社。 ・ロバート ギボンズ (著) 福岡 正夫・須田 伸一 (訳) (2020) 『経済学のためのゲーム理論入門』 岩波書店。 ・Vives, X. (1999). Oligopoly pricing: old ideas and new tools. MIT Press (MA). ・Tirole, J. (1988). The theory of industrial organization. MIT Press. ・Belleflamme, P., & Peitz, M. (2015). Industrial organization: Markets and strategies (2nd ed.). Cambridge University Press. ・Schmalensee, Richard & Willig, Robert (eds.) (1989–2021) Handbook of Industrial Organization. Elsevier. ・佐藤 進・善如 悠介 (2024–連載中) 「プラットフォームの経済学」『経済セミナー』日本評論社。 ・Belleflamme, P., & Peitz, M. (2021). The economics of platforms: Concepts and strategy. Cambridge University Press. ・山崎 修嗣 (2014) 『日本の自動車サプライヤー・システム』 法律文化社。 ・下野 由貴 (2020) 『サプライチェーンのシェアリングモデル—トヨタグループにおける付加価値の創造と分配』 中央経済社。 ・入山 章栄 (2019) 『世界標準の経営理論』 ダイアモンド社。 ・清水 洋 (2022) 『イノベーション』 有斐閣。 ・小田切 宏之 (2025) 『競争政策論 [第3版]—独占禁止法事例とともに学ぶ産業組織論』 日本評論社。 ・デビッド・ガーバー (著) 白石忠志 (訳) (2021) 『競争法ガイド』 東京大学出版会。 https://www.utp.or.jp/special/CompetitionLaw/ ・公正取引委員会 主要な企業結合事例 URL: https://www.jftc.go.jp/dk/kiketsu/jirei/index.html ・公正取引委員会 競争政策研究センター 「ディスカッション・ペーパー一覧」URL: https://www.jftc.go.jp/cprc/reports/discussionpapers/index_2.html#dp6 ・川濱 昇・武田 邦宣・和久井 理子 (編) (2024) 『経済法判例・審決百選 第3版 [No.268]』 有斐閣。 ・U.S. Department of Justice & Federal Trade Commission. (2023). 2023 merger guidelines. https://www.justice.gov/atr/2023-merger-guidelines 残念ながら以下のようなトピックを扱う予定はありませんが、読み物として楽しめるようになっていくのではと思っています。 ・伊藤 秀史・小林 創・宮原 泰之 (2019) 『組織の経済学』 有斐閣。 ・新原 浩朗 (2023) 『組織の経済学のフロンティアと日本の企業組織』 日本経済新聞出版。 ・石田 潤一郎・玉田 康成 (2020) 『情報とインセンティブの経済学』 有斐閣。 ・椎葉 淳・高尾 裕二・上枝 正幸 (2010) 『会計ディスクロージャーの経済分析』 同文館出版。 ・上武 康亮・遠山 祐太・若森 直樹・渡辺 安虎 (2021–2023) 「実証ビジネス・エコノミクス」『経済セミナー』 2021年4・5月号～2023年6・7月号, 日本評論社。 https://sites.google.com/view/keisemi-ebiz/ ・加藤 雅俊 (2024) 『スタートアップとは何か 経済活性化への処方箋』 岩波書店。 ・宮下 修一 他 (2024) 『消費者法 第2版』 有斐閣。 ・楠木 建 (2010) 『ストーリーとしての競争戦略—優れた戦略の条件』 東洋経済新報社。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：ミクロ経済学A・B、産業組織論の履修は必須とします。素手で食材を調理する...みたいなことになってしまうので、これらは3年次の終わりまでに受講してください。また、経済数学I・II、統計学I・II、計量経済学I・II、応用ゲーム理論の履修も強く推奨します。 早期卒業受け入れ：(少なくとも今年度は) 否 その他必要な要件：特にありません。ただし、ミクロ経済学の基礎理論研究への関心のウェイトが高い場合は吉沢先生のゼミを強く推奨します。

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面で実施しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACS等で通知します。 Mathematicaの料金はこちらから確認できます。半年払い、月払いも可能です。Wordへの貼り付けが楽で、ややこしい計算結果もすんなりコピペできるので卒論執筆時間の短縮に繋がるでしょう。また、符号の判定や図表の作成も直感的に行うことができます。 URL: https://www.wolfram.com/mathematica/pricing/students/
学生へのメッセージ/Message for students	・まずは理論モデルに慣れることが大事です。失敗と修正を繰り返し、徐々に分かるようになっていく過程を楽しんでください。 ・テーマ決めには自分の問題意識や関心を言語化することも重要となります。日頃から言語化を積み重ねてください。 ・関心のあるテーマを見つけることは難しいかもしれませんが。理論分析で何が扱えて、何が扱えないのか？の線引きも難しいでしょう。それでも、できるだけ多くの文献を読み、自身の関心を醸成していって欲しいと思っています。 ・あれこれと考える前に、とにかく手を動かすのも大切です。手で考えるくらいでちょうど良いかもしれません。 ・卒論は諦めない心が大事になってきます。できるところから始め、まずは完成させることを目指す...を繰り返せば、いつの間にか自身の想像を遥かに超える世界へと誘ってくれます。 ・論文の執筆を通じて応用理論研究の進め方のようなものを体感してもらえたらと思っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-30	計算の再現、ディスカッション、輪読、報告、研究計画の作成、研究指導

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000721	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	urusaki ▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	本館6階601研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則、講義終了後に受け付ける。それ以外は、事前にアポイントを取る。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	演習題目：マネジメントの実践 課題テーマ：実践体験型PBLによるマネジメント実践力、社会人基礎力の養成 内容与方法：4名程度からなるチームを編成し、各チームが連携事業者と協働でプロジェクトを担当する。プロジェクトを進捗させていく過程において、課題設定や背景理解、課題解決の模索、提案、およびその実施から検証までを主たる活動内容とし、そこで必要な学習を自発的に行う。チーム自らが活動を計画、実行することで、マネジメント実践力やプロジェクト遂行力、デザイン思考力を養うのに加え、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力といった社会人基礎力を訓練する。		
授業到達目標 / Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平素の取り組み(60%)、研究発表(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	(予習) 次回のゼミ活動内容をふまえての個人学習(2h) (復習) ゼミ活動内容の振り返りと自身の態度や姿勢の振り返り(2h)		
キーワード / Keywords	PBL教育、協同学習、産学連携、マネジメント、イノベーション		
教科書・教材・参考書 / Materials	適宜提示する		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目：「プロジェクト・リテラシー」「ビジネス・リサーチ」科目を履修しておくことが望ましい 受講前の準備：ゼミ見学、個別相談を行っておくことが望ましい 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。また学研災付帯賠償責任保険（Aコース）の加入を義務付ける。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	すべて対面形式で実施
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～第30回	プロジェクトに対しての調査、計画、実施、発表など

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000722	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	杜 依濤 / DU YIMENG		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	杜 依濤 / DU YIMENG		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	杜 依濤 / DU YIMENG		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	du-yimeng▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 523研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば適宜対応します		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：環境経済学演習 課題テーマ：持続可能な経済発展と環境問題の課題 内容と方法：本演習では、環境と開発の関係を深く理解し、経済発展に伴う環境問題とその解決に向けた政策評価方法を学びます。経済成長による環境破壊の影響を経済的な視点で評価し、持続可能な開発を実現するための政策手段を検討します。受講生は、環境経済学や計量経済学の理論・手法を学び、これらを用いて「災害」「汚染」「廃棄物」「気候変動」などの関心のある環境問題について議論を行います。 また、環境経済に関連するデータを用いた統計手法の応用や、政策効果の検証手法も学びます。特定の環境問題に対する仮説を立て、研究目的を明確にし、アンケート調査の作成や分析モデルの構築を通じて、思考力や分析力、調査結果を正確に伝える力の向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」をご覧ください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題への取り組み方(30%)、主体的・積極的なゼミへの参加態度(20%)、報告やプレゼンテーション(20%)、作成したレポート(30%)等をもとに総合的に判断し評価を行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[予習] テキストの輪読については、事前に読み込んで報告と議論の準備を行う。データ分析の演習については、事前にR言語を各自で勉強してもらう(プログラムの作成にはChatGPT等の生成AIを利用することが可能)。(2h) [復習] ゼミで議論した内容を整理し理解を深める。(1h)		
キーワード/Keywords	環境経済、環境政策、マイクロデータ分析		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は受講者と相談して決めます。 参考書：栗山浩一、馬奈木俊介『環境経済学をつかむ』 山本勲『実証分析のための計量経済学』 星野匡郎、田中久稔、北川梨津『Rによる実証分析：回帰分析から因果分析へ』
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：ミクロ経済学、計量経済学に関連する講義を多く履修しているほど望ましい。必要に応じて追加で受けてもらう予定です。 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	原則対面形式で実施しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1~6回	環境経済学の基礎知識に関する学習
第7~12回	計量経済学の基礎知識に関する学習
第13回以降	R実践：データ収集と可視化、簡単な社会調査と回帰分析の方法

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000723	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	成田 真樹子 / Narita Makiko		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	makki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 511研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで問い合わせること。 makki@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：世界経済論 課題テーマ：グローバル・エコノミーにおける諸問題：ヨーロッパ経済を中心に 内容と方法：本ゼミでは、世界経済におけるさまざまな問題を議論し、理解を深めることを目的としています。まず、テキストおよび論文の輪読を行います。毎回2~3名のグループで発表を担当してもらい、その内容に基づいて議論をします。その後のゼミ活動についてはゼミ生と相談の上で決定したいと思います。これまでに、輪読の他にディベートやグループでの調査・研究を行いました。 ゼミのテーマとしては主にヨーロッパに焦点を当てますが、卒論のテーマはヨーロッパに限らず、各人の興味のある分野で設定して構いません。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップを見てください 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 (DP-5) 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題への取り組み方(30%), 主体的・積極的なゼミへの参加態度(50%), 報告やプレゼンテーション(20%) 課題への取り組み方、ゼミの参加態度については、ループリックを使用し総合的に判断する。 ループリックの詳細はLACSに載せてある。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) テキストの次回の学習範囲を予習する。(2h) (復習) ゼミ中に指示する。(2h)		
キーワード/Keywords	欧州連合(EU), EPA, 移民・難民, EU拡大, Brexit, ポピュリズム, 単一市場, EU統合の深化, ユーロ, ユーロ危機, CAP, 環境政策, 地域格差		

教科書・教材・参考書/Materials	参加者と相談の上で決定したいと思います。最初はヨーロッパ経済の基本的知識についてのテキストを使用する予定です。 田中他『現代ヨーロッパ経済 第6版』（有斐閣アルマ）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：国際関係概論（GSR概論）および世界経済論を受講しているのが望ましい（単位の有無は問わない）。 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	ゼミは対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	・ゼミは学生が主役であると考えています。そのため、ゼミの参加・運営を学生が自主的・積極的に行うことを期待しています。 ・「世界経済論のゼミ」という性格上、外国(特にヨーロッパ)に関心のある学生を歓迎します。 ・質問があれば遠慮なく問い合わせて下さい。応募の前にゼミについて担当教員から説明を受けることを勧めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1～15回	テキストの輪読
16～30回	ゼミ生で決定した活動（ディベート、グループワークなど）

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000724	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	「開講時に連絡する」		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：経営学 課題テーマ：企業経営の基礎 内容と方法： (内容) 古典, 名著, 事例研究。学生懸賞論文投稿, 独立開業/事業承継, 外国留学(短期・長期の交換留学, ワーホリなどを含む), 大学院進学, などに対する助言。 (方法) 専門ゼミ・卒研ゼミ合同でによる各自の研究報告と討議。LACSを使う。内容によっては個別指導。		
授業到達目標/Course goals	DP5(価値創造及び発信力)：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。このために、卒業論文に向けて各自のテーマを専門領域の通説に対する批判を含めて、自由に探究し、合同ゼミでその成果を報告し、質疑応答を経て、さらに探究を重ねていく。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	いずれも60点以上を合格とする。 (専門ゼミ) 卒業論文の予備論文として位置づけられるべき学術論文の作成・報告(70%), 合同ゼミにおける報告・討議等の活動に関して具体的かつ詳細に記録されている各人のゼミノート(30%)。 (卒研ゼミ) 卒業論文の形式・内容(70%), 各人のゼミノート(30%)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習・復習：以下の内容に関連して、各回、予習・復習にそれぞれ2時間以上を割くこと。 報告レジュメ(研究成果)を事前にLACS掲示板へアップする。 報告後は、討議の結果を必要に応じて、次の報告レジュメにフィードバックを反映させる。 欠席者は、事後に掲示板へ書き込むことにより、毎回、参加しなければならない。		
キーワード/Keywords	学術研究, 論理的な記述, レトリック, プレゼンテーション, 質疑応答の作法		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース・領域 担当教員の著作（学術書・論文）にふれてください。 早期卒業受け入れ：可 その他必要な要件：社会人としての基本的な礼儀作法（年齢学年性別立場の関係なく互いに～さんと呼称、遅刻・欠席するときは事前/事後にゼミ幹事と教員へ連絡、扉の開閉・エレベータの乗降、その他、マナーに関する基礎知識を、できるだけ在学中にマスターしてください）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2999（E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	OB・OGの卒業論文論題は『長崎大学経済学部卒業論文論題一覧』を参照。 研究室所属の卒業論文（ゼミノート付録）を627研究室で保管（閲覧するときは要予約）。 研究室所属の入選作（学部学生懸賞論文、学外の懸賞論文）も627研究室で保管。 主指導の論文（学部・修士・博士）タイトル一覧PDFファイルを請求に応じて提供。 1993-2024：卒論@平均約13編/年；2008-2024：修論計45編・博論計10編。
学生へのメッセージ/Message for students	夜間主コース演習（2026年度）の学生さんの都合しだいでは合流して実施するかもしれません。 企業経営（個人事業・青色申告・相続・事業承継などを含む）に関心があればベストです。 具体的な人物や人間関係など、広義の経営に関心があれば、研究の手助けができると思います。 応募者に対する面接は、個別相談済みのばあい、割愛します。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程（所得税法上の勤労学生：1983-1988）に在籍中、老舗割箸小売商、有限会社遠州屋商店（横浜市中区長者町）において、横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引（御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり）、視覚障がいをおもちの内職さんとの取引（割箸袋への割箸の挿入）、その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般、トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
各回	研究報告と質疑応答（合同ゼミによる）

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000725	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館502		
担当教員TEL/Tel	095-820-6403		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日(13:00-14:30)要メール予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：財務報告と監査 課題テーマ：社会における説明責任と信頼構築の手段である財務報告と監査についての学術研究内容と方法：社会科学の研究手法、専門の基礎知識の習得、自らの問題意識の設定、研究デザインと方法の選択など研究のプロセスを学びながら最終年度に卒業論文作成を行うことを目指す。		
授業到達目標/Course goals	DP-3：自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☐C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終的に卒業論文のテーマ設定とリサーチデザインについての発表に3年次ゼミのすべてを集約してもらいます。日頃の中間報告30%と期末のテーマ設定報告70%で評価 授業参加度、授業への取り組みなども総合的に評価対象です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、発表箇所の学びとプレゼンの準備を行う。(2h) 事後には、演習中に学んだことを自分の研究に活かすための振り返りを文字化する。(2h)		
キーワード/Keywords	財務報告、IFRS、監査、ビジネス法、行動学、心理学		
教科書・教材・参考書/Materials	桜井久勝『財務会計講義 第26版』中央経済社、2025年。 スティーブン・P・スティッチ(他)『断片化する理性』勁草書房、2006年。 ドグ・サールズ(著)・栗原潔(訳)『インテンション・エコノミー』翔泳社、2013年。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全コース受入れ可(ただし会計専門職を目指す学生に有効なゼミ内容) 早期卒業受け入れ不可		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面形式での開催になります。既定の範囲内で30回中14回をオンラインで開催予定です。具体的な日付は初回に決定いたします。初回の対面ゼミに必ずご参加ください。
学生へのメッセージ/Message for students	公務員や国家資格などの試験勉強対策が必要な学生は各自で行うように時間確保をしてください。ゼミでは実践現場の問題解決に資する社会科学研究について、学問的に考え、学び、実践します。ゼミ活動は、基本的に毎週1回の正規の時間割で規定された時間内に行います。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	社会科学研究の意義と方法
第3回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）1 経営学基礎、会計学基礎、リサーチデザインなどを10回に亘り積み上げる
第4回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）2
第5回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）3
第6回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）4
第7回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）5
第8回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）6
第9回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）7
第10回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）8
第11回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）9
第12回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）10
第13回	前期の総括と学習成果の最終発表 1
第14回	前期の総括と学習成果の最終発表 2
第15回	前期の総括と学習成果の最終発表 3
第16回	後期初回オリエンテーション リサーチテーマの報告
第17回	リサーチテーマの発表 1
第18回	リサーチテーマの発表 2
第19回	リサーチテーマの発表 3
第20回	リサーチデザインとメソッドの決定 1
第21回	リサーチデザインとメソッドの決定 2
第22回	リサーチデザインとメソッドの決定 3
第23回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション 1
第24回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション 2
第25回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション 3
第26回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション 4
第27回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション 5
第28回	最終発表 1
第29回	最終発表 2
第30回	最終発表 3

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000726	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原 由紀恵 / Hara Yukie		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原 由紀恵 / Hara Yukie		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原 由紀恵 / Hara Yukie		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harayukie@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	Room 509 in Main Building, Katafuchi		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	After each class. Also by appointment (Email me).		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目: Linguistics 課題テーマ: Language and Interface between Language/Linguistics and Economics & Business 内容と方法: Linguistics is a scientific study of language, which makes us uniquely human. Because language is our daily tool that we all share, leaning linguistics help us understand ourselves (How language works? What are shared systems across human languages like? Does language influence us and our thoughts?). In this course, you are introduced to linguistics [Spring semester], then you find your own questions related to Economics & Business, which can be addressed by using your knowledge of linguistics [Fall semester]. All will be done in English. [Spring semester] Students read book chapters from a linguistics textbook published in U.S.; take turn to give a presentation as well as lead a discussion on each chapter; discuss & understand the topic well; bring relevant news article/information on a given topic to think about questions related to language, Business, and Economics. [Fall semester] Based on your learnings in Spring semester, students are likely to form groups (or go by individuals) and work on a research project. That is, students research a topic of their interests, by collecting previous research articles, finding current trends in Linguistics, Business, and Economics, pointing out related current issues found on newspapers or other materials, and give a presentation to report their findings. Students all develop discussions and give feedback to peers.		
授業到達目標/Course goals	After having completed this course, students will be able to: ・ Understand the basics of linguistics ・ Find topics / questions on the interface between Language/Linguistics and Economics & Business ・ Collect and organize information to develop their thoughts and critically exchange opinions ・ (Academically) use English with increased experience, confidence, and fluency Above goals are linked to the Faculty-of-Economics DP goal as follows: DP5 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている		

知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	• Participation (Discussion Comments, Overall Activities) 40% • Presentation & Discussion Leader, Project Reports 60% (Details will be announced in class) Your contributions to weekly classes are crucial in your final grade. Remember that your participation does not mean just showing up but working actively in class. If you are late, or leave earlier, more than 20 minutes, you will be considered absent. Three tardies or leaving-early are considered equivalent to one absence. If you miss more than a third of classes, you will fail.
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Be sure to complete your reading and preparations for your {presentation/ discussion/ research /assignment etc.} before each class time and be ready to fully utilize chances of class discussions and learnings (2h). After each class, review and master the new concepts and continue developing your thoughts and research, which will be helpful for your projects, thesis, as well as for your future career (2h).
キーワード/Keywords	Linguistics, Language, Interface between Language/Linguistics and Economics & Business
教科書・教材・参考書/Materials	Textbooks are currently in careful consideration and to be announced at the 1st session. (Having said so, currently considered books include: Dechaine, R. M., Burton, S., & Vatikiotis-Bateson, E. (2012). Linguistics for Dummies. John Wiley & Sons. This is tentative so please do NOT purchase the book yet).
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件 ・（ゼミ配属後）本ゼミ生は、経済学部留学生チューターに登録すること。 ・多読精読、発表、ディスカッション、リサーチ、卒論執筆等、英語で全てやりおせる覚悟と責任があること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	(This class will be conducted physically, with a possibility of being conducted through a live online platform depending on the Covid situation, etc.)
学生へのメッセージ/Message for students	前半は言語学（言語を対象とした科学）の基礎を英語「で」学び、後半は言語学の知識を、各自が「経済・経営」に見つける問や課題にどう活かせるか考え取り組みます。詳しくは上記シラバスをしっかりと読んでください。全て英語で行い、情報を目的をもって読み込み・調査・まとめ、自分の意見を持ち、発表・ディスカッションでの発信につなげます。受講者の積極的な発言を求めます。一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents

1	Orientation and Introduction to Seminar: Linguistics
2 ~ 30	As described above in the section of 'Course overview'

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000727	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidetaka.hemmi(at)nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階608研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて事前にアポイントメントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：マネジメントの実践 課題テーマ：問題解決型のプロジェクトによる組織や地域の問題を解決するビジネスパーソン涵養 内容と方法：本研究室では、社会課題を解決する優秀なビジネスパーソンになることを目的に、産学連携プロジェクトを通して組織で生じる問題を解決する能力を養うことを目指す研究室である。具体的には、少人数のチームを編成し、企業や地域へのフィールドワークやグループワークを行いながら、企業や地域が抱える課題を発見・解決していく。本演習を通して、企業や地域が抱える問題を解決するために、学生自らが問いを立て、仮説を構築し、問題解決のアイデアを創出し実行するプロセスを学習していく。この学習過程では、経営学の知見の応用のみならず、自分の意見を伝える力、チームで協力する力が必要である。 本研究室は「意味あるモノのつくり手になる」ことをコンセプトに活動をする。本研究室では、様々な活動を通して、意味を徹底的に考え、設計する。意味づけとは、生産者や顧客が何に関心を持ち、なぜその商品が必要で、どのように相手に商品の魅力を伝えていくのかを明確にすることである。現代の企業は、合理性を追求し、短時間で多くのモノをつくることを可能にした。しかしながら、顧客は大量生産された商品に魅力を感じにくくなっている。そこで、モノやサービスに対して、新たな意味を設計していく必要がある。例えば、多くの観光客は旅行の際に、価格の安さだけではなく、そこにしかない体験やお土産にお金を使おうと思うだろう。つまり、観光客は希少性を買っているといえる。このように、つくり手がモノやサービスの意味を考えることで、自分自身への納得につながり、相手の感情や行動を変える可能性がある。 意味づけの実践的方法として、本研究室では問いのつくり方を学ぶ。 以上の取り組みを経て、社会で活躍するビジネスパーソンになることを目指していく。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み（60％）、研究発表（40％）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（予習）企業が抱える課題の探索のための事前調査、課題解決のための問いと仮説構築およびアイデアの創出（2h） （復習）実行後のリフレクション（2h）
キーワード/Keywords	PBL教育、産学連携、フィールドワーク、経営組織、マネジメント、意味の設計、マーケティング
教科書・教材・参考書/Materials	配布する講義資料を確認すること。その他、課題解決に関連する書籍などを適宜紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目：「プロジェクト・リテラシー」「ビジネス・リサーチ」科目 受講前の準備：ゼミ見学、個別相談を行なっておくことが望ましい 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。また、学研災付帯賠償責任保険（Aコース）の加入を義務付ける。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は対面形式で実施する。初回に授業計画を説明する。なお、状況によって開講場所や日時を変更する場合もある。変更の場合は連絡するので確認すること。 本ゼミの活動方針や詳細な取り組み等は、辺見英貴研究室のホームページを確認すること。 https://hidetakalab.tumblr.com
学生へのメッセージ/Message for students	本ゼミは、ビジネス実践力を育成するための実践型ゼミです。 ゼミに関する疑問や懸念点などの個別相談を希望する学生は、メールでの問い合わせを受けつけます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～8回（4・5月）	本演習はクライアントやフィールドの状況によって、予定変更の可能性がある。ゆえに、講義スケジュールは大まかな目安であることを留意されたい。 本演習は、少人数のチームで活動するためグループワークが不可欠である。また、下記活動の詳細なプランニングもチームで練り上げていく。 【現状分析と課題抽出】 序盤は、アイデアを生み出すための文献調査や実態調査としてのフィールドワークを行う。フィールドワークを通して、対象地域や事業者（企業）が抱える課題を抽出していく。
第9～15回（6・7月）	【問いと仮説とアイデアの創出】 課題に基づいて、問うべき問いや、仮説の構築を試みる。その後、アイデアの創出をし、アイデアを事業者および教員などの関係者にプレゼンテーションする。 プレゼンテーションのフィードバックをもとに、アイデアを改善し、最終的に実現可能なアイデアの実行に向けて準備を行う。7～10月にアイデアの実行をすることが望ましい。
第16～23回（10・11月）	【リフレクション】 アイデアの実行後は、チームや個人でリフレクション（内省）を実施し、アイデアにどのような意味や価値があったのかについて議論していく。この議論を活動報告書の土台にしていく。
第24～30回（12・1月）	【活動報告書の作成】 ゼミ活動を経て、「現状分析、課題抽出、問い・仮説およびアイデア創出、リフレクション」をまとめた活動報告書の作成を行う。

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000728	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	間島 羽奈子 / MAJIMA HANAKO		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	間島 羽奈子 / MAJIMA HANAKO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	間島 羽奈子 / MAJIMA HANAKO		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h.majima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館 6 階 6 2 6 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：マネジメントの実践 課題テーマ：問題解決型プロジェクトを通じた社会人基礎力の養成 内容と方法： 本ゼミでは、企業や地域と連携して、数人のチームごとに問題解決型プロジェクトに取り組み、課題解決の過程を学び、社会人基礎力を養成することを目指す。具体的には、文献調査およびインタビューやフィールドワーク等を行い、企業や地域の課題や背景を理解することに努める。その上で、プロジェクトの目的を設定し、どのようにしたら課題解決できるか考えていく。その際、課題解決の意義を高めるため、情報収集と分析を行い、課題解決策とニーズとのズレがないか検討することを重視する。また、チームメンバーが協力して課題解決に取り組むため、自身の考えを分かりやすく伝え、メンバーの意見に耳を傾け調整する力を身に付けていくことを目指していく。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップを見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み(60%)、成果発表(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 調査とアイデアの検討 (復習) 活動から学んだ点・良かった点・改善点と今後の方向性の確認		
キーワード/Keywords	PBL教育、マネジメント、マーケティング		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	ゼミに関する質問等を希望する学生はメールによる問い合わせを受け付ける。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1～30回	プロジェクトの調査・議論・振り返り・発表等

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000729	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階 625研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:10 ~ 13:10		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：日本経済史 課題テーマ：長崎居留地の歴史、そして未来 内容と方法 【内容】 日本は1858年に欧米5か国と修好通商条約を締結しますが、その中には開港地に居留地を設けることが掲げられます。長崎では1860年より大浦一帯が埋め立てられ居留地が造成されています。専門ゼミではこの長崎居留地をテーマとした研究に取り組んでいきます。具体的なテーマとしては、居留地は日本の近代化をどのように支えたか、居留地は日本人の暮らしにどのような影響を及ぼしたのかという歴史的な研究も考えられます。また、居留地に残された歴史的遺産を今後どのように保存、活用していくべきかといった未来志向の研究も考えられます。皆さんがご自身で選んだテーマにつて2年間じっくりと研究してください。 なお、令和7年度は領域演習の学生とともにグラバー園のツアーガイドを実施しましたが、令和8年度に関しても希望があれば実施します(なお、その際の実施時期は11月、12月ごろを予定)。 【方法】 3 年前期：ゼミでの学習についてのガイダンス・ワークの後、グループでテーマを選定、調査・検討し、プレゼンテーションをおこなう。 3 年後期：前期の研究を深化し、学内外で研究発表をおこなう。 4 年前期：卒論テーマを決め、就職活動と調整しながら、指導を受ける。 4 年後期：卒論の執筆、提出。		
授業到達目標/Course goals	DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	研究成果の報告内容(100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：ゼミ報告に向けての準備（2h） 事後学習：報告に対するコメントを反映した報告内容の加筆・修正（2h）
キーワード/Keywords	長崎、経済人、「近代化」、居留地
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：なし 参考書：ゼミ生の研究テーマに応じて適宜紹介します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期卒業受け入れ：否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面で実施
学生へのメッセージ/Message for students	・ゼミ内容などに質問がある場合はゼミ見学、個別相談を利用してください。 ・面接にあたり、志望理由書をA4用紙に800字程度でまとめて持参してください。 ・学外でのゼミ活動に意欲のある学生を募集します。 ・他大学との合同ゼミは少なくとも2回は開催します。他大学の学生との交流に興味のある方にはお勧めのゼミです。 ・ゼミ生の主体的な活動により、ゼミの伝統を築きあげていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	Nの場合...記入不要 Yの場合...（例）○○社において、 の開発に従事 / について教授
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1～30回	研究調査、研究報告とディスカッション

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000730	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	三輪 加奈 / MIWA kana		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-miwa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階 623研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて連絡をしてください。(k-miwa@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目： 開発経済研究 課題テーマ： 開発途上国の抱える問題・課題を考える 内容と方法： 本演習では、開発途上諸国における貧困、社会・経済開発の問題等を扱います。具体的に、前期は開発途上国の貧困問題について、その現状を学び、また貧困削減に向けた社会・経済開発について基礎的な知識を養うことを目的に、関連する文献などを読み、担当者からの報告を求めます。後期は、前期のゼミなどで得られた知識などをベースに、ゼミ生同士のグループワークやプレゼンテーションを中心に議論・討論を行います。		
授業到達目標/Course goals	専門ゼミは、次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的・主体的なゼミへの参加態度(輪読、プレゼン、グループワークへの取り組み方など)をもとに総合的にルーブリックを用いて評価する(計100点)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)テキストの次回の学習範囲の予習や、指定した文献探索などをしてもらいます。(2h) (復習)ゼミでの内容を整理し理解を深めます。追加調査やグループでの追加作業を求めることもあります。(2h)		
キーワード/Keywords	開発経済学、開発途上国、貧困削減、国際協力、SDGs		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は受講者と相談して決めます。 参考書も適宜紹介します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース： 全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備： 特になし(ただし演習開始前に課題を課す場合があります) 早期卒業受け入れ： 可		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業形態は、対面授業とします。（留学中の学生はオンラインでの参加可）
学生へのメッセージ/Message for students	グループワークなど、ゼミに関する活動に主体的・積極的に参加できる学生を希望します。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1～15回	テキストの輪読
16～30回	グループワーク（開発途上国や国際協力などに関するディベートやプレゼンなど）

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000731	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森田 顕仁 / MORITA AKIHITO		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森田 顕仁 / MORITA AKIHITO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森田 顕仁 / MORITA AKIHITO		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生(租税法の知識の有無は問わない)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akihito.m@nagasaki-u.ac.jp (メール送信時は▲を@に変更してください。)		
担当教員研究室/Office	本館(学務係が1階にある棟)6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ(オンラインでも可能です)。ただし、メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：租税法 課題テーマ：租税に関連する分野についての研究 内容と方法：租税に関連する分野は、租税法のみならず、会計・税務のIT化、税務行政の運営など、広範に渡るものである。本演習においては、租税についてのグループ討論や質問などを通じて基礎的な事項を学習した上で、各々が興味を持っている租税に関連する分野について、レポートを作成する。なお、本演習におけるトータルの時間としては、前者及び後者でおおよそ半分ずつとする予定。 なお、授業は原則として対面で実施。		
授業到達目標/Course goals	(1) 租税に関連する分野に自ら興味を持ち、自分の意見や考えを発言したり、不明な点を質問したりすることで、自分の能力向上や知識の習得を図る。 (2) 討論の資料の準備や論文の作成を通じてグループで協力することにより、協調性を身につける。 なお、授業到達目標について、DPとの関連では以下のとおり。 DP3: 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 DP4: 現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・ 演習における課題の報告内容 (30%) ・ 演習で作成したプレゼン資料やレポートの内容 (30%) ・ 演習における積極的なコメント・質問 (30%) 仮に間違ったコメント等であっても評価を下げることはしない。 他の学生に対するアドバイスも積極的に評価。 ・ その他(演習の運営に対する積極的な貢献など) (10%)		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前及び事後】 グループ討論の資料やレポートの作成に当たり、事前の準備や事後の対応が必要となる場合が多い。具体的には、各演習における検討課題への対応、レポートの作成・提出やグループ討論資料であるパワポ資料の作成など。（週2h）
キーワード/Keywords	租税法、国際課税、IT、マイナンバー、税務行政
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】租税法入門 第3版（有斐閣、増井良啓著）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：特になし（租税法の知識の有無は問わない）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	原則として、授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	租税は日常生活の中、色々なところで接するものであり、多くの人々にとって重要なものです。その一方で、租税法は法令の中でも難解であり、理解しにくいものと言われています。この演習では、租税の基本的な仕組みや租税法の基本的な解釈について学び、租税や租税法の理解を深めます。その上で、国際課税や税務行政のIT化など、現在進行中の課題についても取り扱います。学生のみならず、租税に関する様々な事柄について、自分自身で検討し、自分なりの考えを持てるように、一緒に取り組んでいきたいと思っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	森田 顕仁 / 税務行政 / 税務、租税手続き、租税法の企画・立案（税制改正）、国際課税などに携わった経験を活かし、演習を進めます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
初回～最終回	・租税関連分野におけるグループ討論やそのための準備を行います ・学生の興味のある分野（租税関連）のレポート作成 ・原則として、授業は対面で実施します

学期 / Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2026/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20261510000732	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階215号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：地域経済学 課題テーマ：地域社会の持続可能性について 内容と方法：地域経済の持続を促すために、地域社会の理想像、それを踏まえた地域社会の問題、その問題解決に資する課題の設定と個人や組織がとるべき具体的な方策について検討します。 これらの検討を進めるにあたっては、2年間を通じて輪読やフィールドワークに務め、その成果を論文やwebで発信したり実践的な活動によって世に問うことを繰り返します。 その結果、長い時間、遠い空間や多様な人々を想い、考え、行動できる人材となることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゼミにおける輪読、フィールドワーク等への主体的に取り組んでいるかどうか(100%)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 輪読における当該文献の解説や関係する文献の渉猟などゼミ活動にかかる事前の学修(2h) (復習) 輪読報告時に得た質問や意見などに対する回答の作成など事後の学修(2h)		
キーワード/Keywords	地域経済、地域社会、持続可能性		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites	受け入れコース・領域：全コース・全領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：経済学の基礎的科目。また、地域経済論や地域政策論を、事前もしくは専門ゼミと同時に履修してください。 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	授業は対面形式で実施しますが、必要に応じてオンラインも併用します。専門ゼミの日常については、FacebookやInstagramにて「長崎大学山口研究室」を検索、閲覧してください。
学生へのメッセージ/Message for students	地域社会の現状や課題に強い関心があり、地域に関わるあらゆる問題を食わず嫌いせずに受け入れて、他者や地域を最優先に、その解明や解決に全力であたる学生の履修を希望します。1回（90分）/週のゼミの時間以外に、平日、休日を問わずフィールドワーク等に時間を費やしますので、ゼミ以上に時間や労力を使いたいことがある学生の履修は難しいと考えます。このような事情から、ミスマッチを避けるためにも、申し込み前に必ず教員にアポをとって事前相談の時間を確保してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
全回	研究報告とディスカッション、フィールドワークもしくは実践活動